

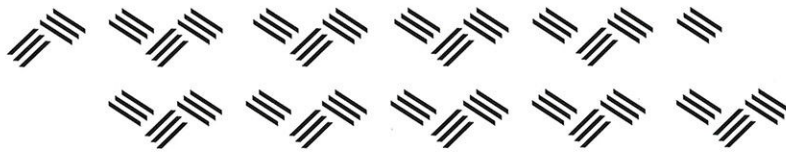
JUKI CO.,LTD.

1本針3本糸差動付きロックミシン

Artisan  
370D

取扱説明書

Artisan



このたびはお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- ご使用前に、この「ご使用のてびき」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りのうえ、この「ご使用のてびき」とともに大切に保管ください。

株式会社 **ジューキ**

**3** THREAD

OVERLOCK MACHINE  
DIFFERENTIAL FEED



# 安全のために

ご使用していただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。

## ⚠ 警告

◇一般家庭用の100V電源をご使用ください。

◇使用后やミシンから離れるとき、また停電したときは必ず電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてください。

## ⚠ 注意

火災や感電の原因になります

- ◆ミシン本体やコントローラー、電源コードの分解・改造等はいしないでください。
- ◆電源コードの接続に、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
- ◆電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- ◆ミシン本体の換気穴をふさがないでください。
- ◆ミシン内部にドライバーや異物を入れないでください。また糸くずやホコリがたまらないようにしてください。
- ◆ミシンおよびコントローラーに水や薬品などがかからないようにしてください。
- ◆引火性の高い薬品やスプレーを扱っている場所、および強力なスポットライトや熱器具のそばではご使用にならないでください。ミシンの使用温度は0℃～40℃です。
- ◆以下のときはミシンのご使用を中止し、お近くの販売店にご相談ください。
  - ・電源コードまたは電源プラグが破損したとき
  - ・正常に作動しないとき
  - ・落下などにより破損したとき
  - ・ミシンが濡れたとき
  - ・異臭がするとき
- ◆コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。

傷害の原因になります

- ◆以下のときは、必ず電源を切ってください。
  - ・ランプの交換をするとき
  - ・メスの交換をするとき
  - ・針に糸を通すとき
  - ・針を交換するとき
  - ・押えを交換するとき※ランプの交換は、ガラス部分が冷めてから行ってください。
- ◆操作中は針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天秤・ルーパーなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
- ◆お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用される場合は、安全に対し十分に注意を払ってください。
- ◆ミシンには正規の部品をご使用ください。
- ◆曲がった針や破損している針はご使用にならないでください。
- ◆縫製中に布を無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。
- ◆ミシンを移動するときは、把手を持って行ってください。

## 目 次

<ul style="list-style-type: none"> <li>● おとり扱いについてのお願い ..... 2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 標準巻きロック、変形巻きロック、ピコ縫い ..... 26</li> <li>    ◆ 正しい糸調子 ..... 27</li> <li>    ◆ 糸調子の調節の仕方 ..... 27</li> <li>    ◆ 変形巻きロックとピコ縫いの糸調子の調節 ..... 27</li> </ul>
<p>準 備</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各部の名まえ ..... 3</li> <li>● 標準付属品 ..... 4</li> <li>● 電源のつなぎ方 ..... 4</li> <li>● 速さの調節の仕方 ..... 4</li> <li>● はずみ車の回転方向 ..... 5</li> <li>● 布板のあけ方、しめ方 ..... 5</li> <li>● ルーパーカバーのあけ方、しめ方 ..... 5</li> <li>● 糸掛けスタンドの位置決め ..... 6</li> <li>● 糸こま押さえ、糸こまネット(別売品)のつけ方 ..... 6</li> <li>● 針のとりかえ方 ..... 7</li> <li>● 押さえのあげ方、さげ方 ..... 8</li> <li>● 押さえのはずし方、つけ方 ..... 8</li> <li>● 押さえ圧の調節 ..... 8</li> <li>● 縫い目の長さ(送り目)調節 ..... 9</li> <li>● 差動送り(伸縮)の調節 ..... 9</li> <li>● 上メスの解除ともどし方 ..... 10</li> <li>● 切り幅の調節 ..... 11</li> <li>● 縁かがり縫いと巻きロックの切りかえ ..... 12</li> <li>● 糸の通し方 ..... 13~21</li> <li>    ◆ 下ルーパー糸の通し方 ..... 15~17</li> <li>    ◆ 上ルーパー糸の通し方 ..... 18~19</li> <li>    ◆ 針糸の通し方 ..... 20~21</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 縁飾り縫い ..... 28</li> <li>● ギャザーよせ ..... 28</li> <li>● ピンタック ..... 29</li> <li>● コーナー部の上手な縫い方 ..... 30</li> </ul>
<p>ミシンの調節と手入れ</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 試し縫いをしましょう ..... 22</li> <li>    ◆ 縫い始め ..... 22</li> <li>    ◆ 縫い終わり ..... 22</li> <li>    ◆ つづけて縫うとき ..... 22</li> <li>    ◆ ガイドラインの使い方 ..... 22</li> <li>● 縫い始め、縫い終わりの糸の始末、縫い目のほどこき方 ..... 23</li> <li>● 糸調子の出し方 ..... 24</li> <li>    ◆ 正しい糸調子 ..... 24</li> <li>    ◆ 糸調子の調節の仕方 ..... 24</li> <li>● 布に適した糸や針を選ぶ目安(縁かがり縫い) ..... 25</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 切りくずの清掃 ..... 31</li> <li>● 送り歯の清掃 ..... 31</li> <li>● 電球のとりかえ方 ..... 32</li> <li>● 注油の仕方 ..... 32</li> <li>● ミシンの持ち運び方 ..... 32</li> <li>● 調子がよくないときの直し方 ..... 33</li> </ul>

## ● おとり扱いについてのお願い

### ★より安全のために…

- ① ミシンを動かしているとき、針から目をはなさないように注意し、はずみ車、メス、針などに手を触れないでください。
- ② つぎのようなときは、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
  - 使用後
  - ミシンのそばをはなれるとき
  - 部品をつけたり、はずしたりするとき
  - ミシンの手入れをするとき
- ③ コントローラーの上には物をのせないでください。
- ④ たこ足配線は、危険ですからやめましょう。

### ★ご使用の前に…

- ① ほこりや油などで布を汚さないように、使う前にミシンをよくふいてください。
- ② ミシンのセットや、針板、メス、針を交換するときには、この《取扱説明書》を見て、正しく、確実にセットしてください。
- ③ ミシンをセットしたら、ルーパーカバーと布板が確実にしめてあることを確認し、実際に縫うものと同じ布や糸で試し縫いをしてみましょう。

### ★いつまでもご愛用いただくために…

- ① ほこりや油などの汚れは、水をつけずに、乾いたやわらかい布でふきとります。
  - \*シンナー、ベンジン、みがき粉は絶対に使用しないでください。
- ② 長時間日光にあてたり、ストーブのそばに置いたりしないでください。
- ③ 湿気の多いところはさけてください。
- ④ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。

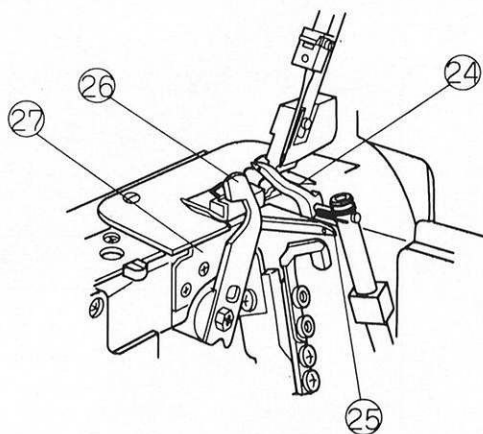
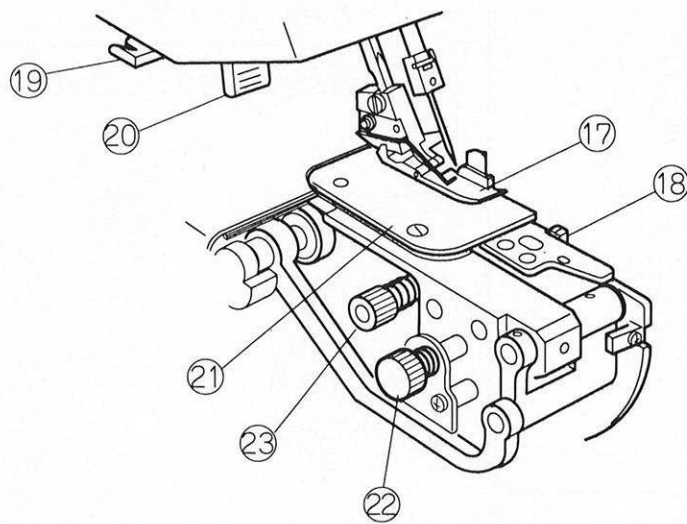
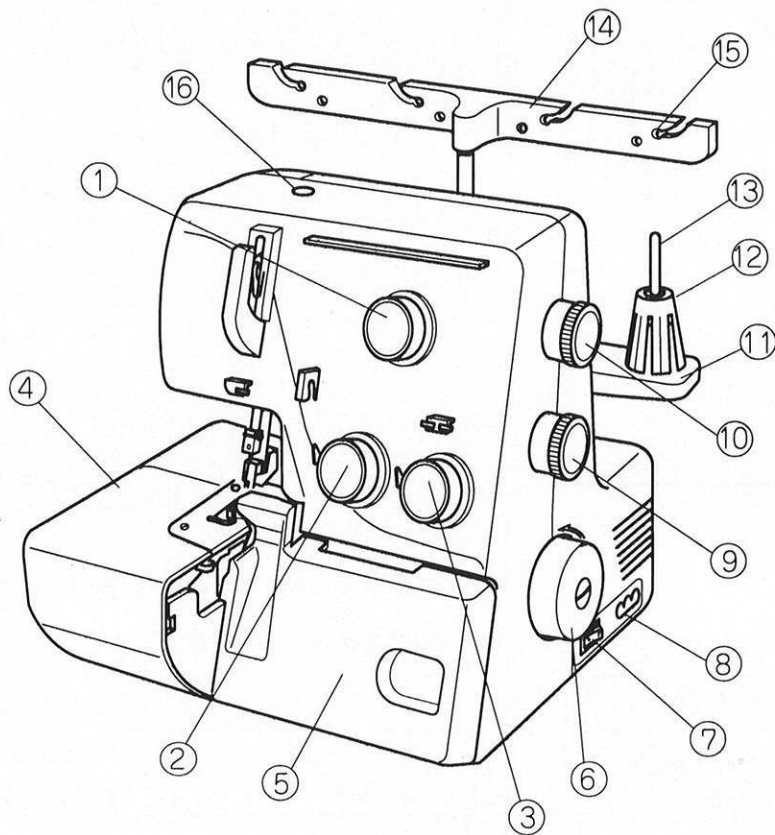
### ●修理、調整についてのご案内

万一不調になったり、故障を生じたときは、「調子がよくないときの直し方」(33ページ)により点検・調整を行なってください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ●このミシンは、日本国内用に作られていますので、外国では使用できません。

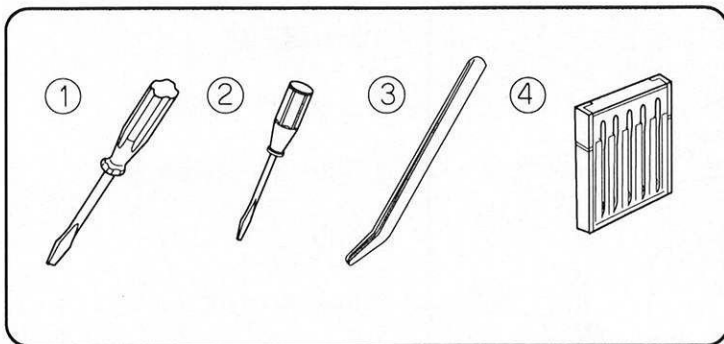
(This sewing machine can not be used in foreign country as designed for Japan only.)  
仕様及び外観は改良のために予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

# ●各部の名まえ



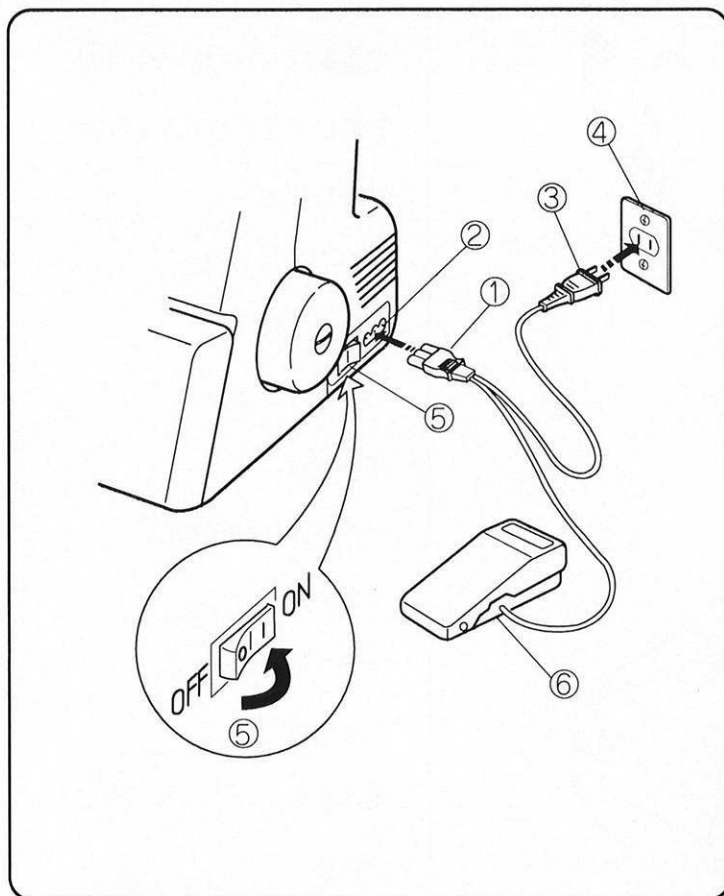
- ①針糸調子器
- ②上ルーパー糸調子器
- ③下ルーパー糸調子器
- ④布板
- ⑤ルーパーカバー
- ⑥はずみ車
- ⑦電源スイッチ
- ⑧プラグ受け
- ⑨差動送り(伸縮)ダイヤル
- ⑩縫い目の長さ(送り目)ダイヤル
- ⑪糸立て台
- ⑫糸こまホルダー
- ⑬糸立て棒
- ⑭糸かけスタンド
- ⑮糸かけ
- ⑯押さえ圧調節ねじ
- ⑰押さえ
- ⑱かがり爪つまみ
- ⑲糸切り
- ⑳押さえ上げ
- ㉑針板
- ㉒切り幅調節ダイヤル
- ㉓上メスつまみ
- ㉔上ルーパー
- ㉕下ルーパー
- ㉖上メス
- ㉗下メス

## ● 標準付属品



- ①ドライバー(大)
- ②ドライバー(小)
- ③ピンセット
- ④針ケース  
HAX1SP11番

## ● 電源のつなぎ方



1. 電源スイッチを「OFF」にして、プラグをプラグ受けにさしこみます。
2. 電源プラグをコンセントにさしこみます。
3. 電源スイッチを「ON」にします。

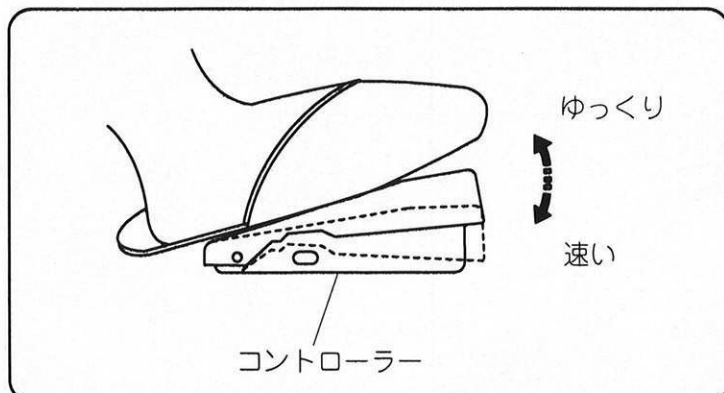
⚠ ミシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 電源プラグやプラグをコンセントから抜く時は、コードを引っ張らないでください。

⚠ 一般家庭用交流電源(100V50/60Hz)でご使用ください。

- ①プラグ
- ②プラグ受け
- ③電源プラグ
- ④コンセント
- ⑤電源スイッチ
- ⑥コントローラー

## ● 速さの調節の仕方

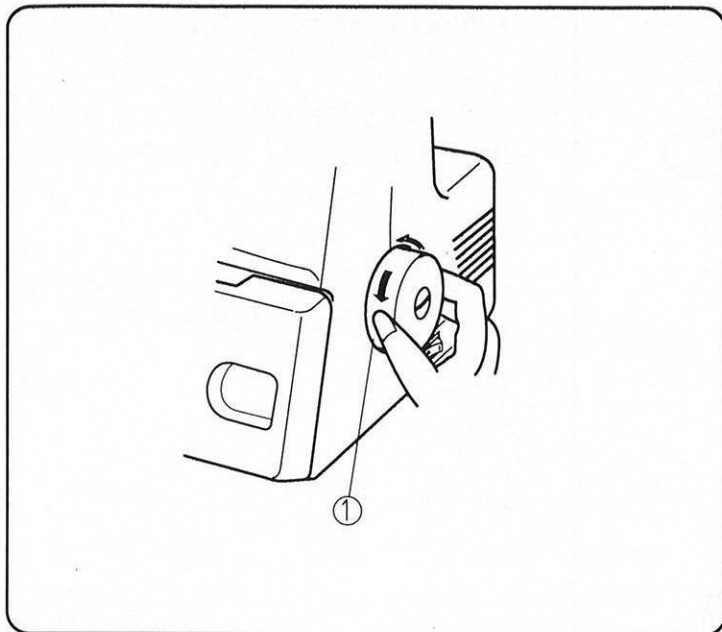


ミシンの速さは、コントローラーで調節します。

\* コントローラーは、深く踏み込むと、速くなります。

⚠ コントローラーの上に、物を置かないでください。

## ●はずみ車の回転方向

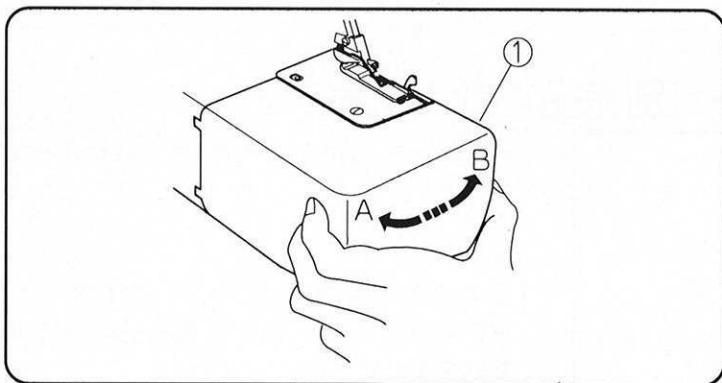


⚠ 電源スイッチを切ってください。

\*はずみ車は、手前にまわします。

①はずみ車

## ●布板のあけ方、しめ方



⚠ 電源スイッチを切ってください。

◆あけ方

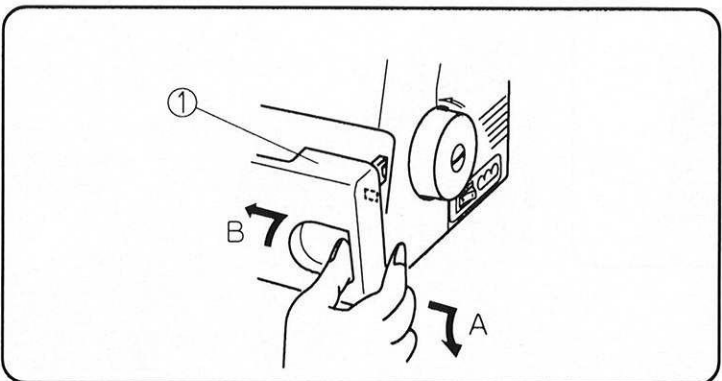
左へ押してあけます。(A方向)

◆しめ方

右へ押してしめます。(B方向)

①布板

## ●ルーパーカバーのあけ方、しめ方



⚠ 電源スイッチを切ってください。

◆あけ方

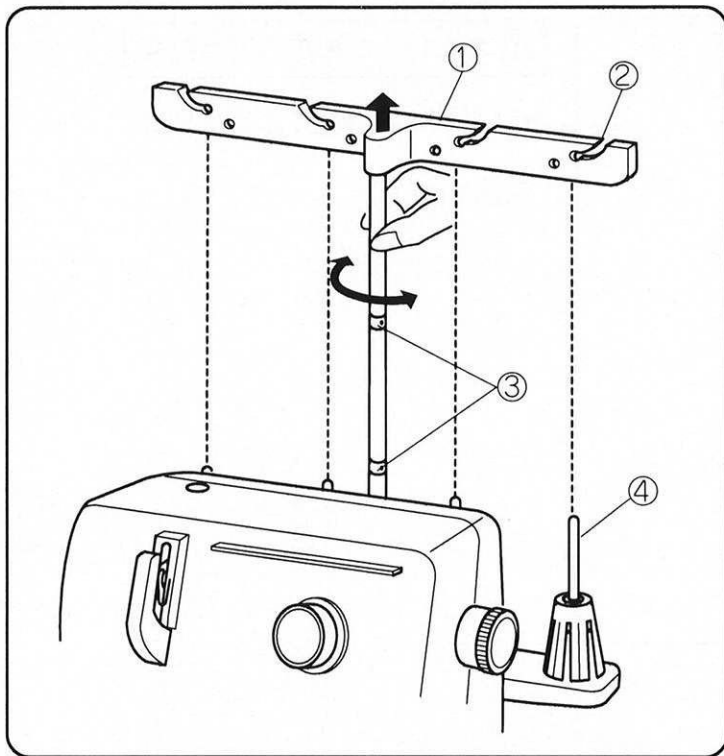
右いっばいに寄せながら、手前にひきます。(A)

◆しめ方

もちあげて軽く押しつけます。(B)

①ルーパーカバー

## ●糸掛けスタンドの位置決め



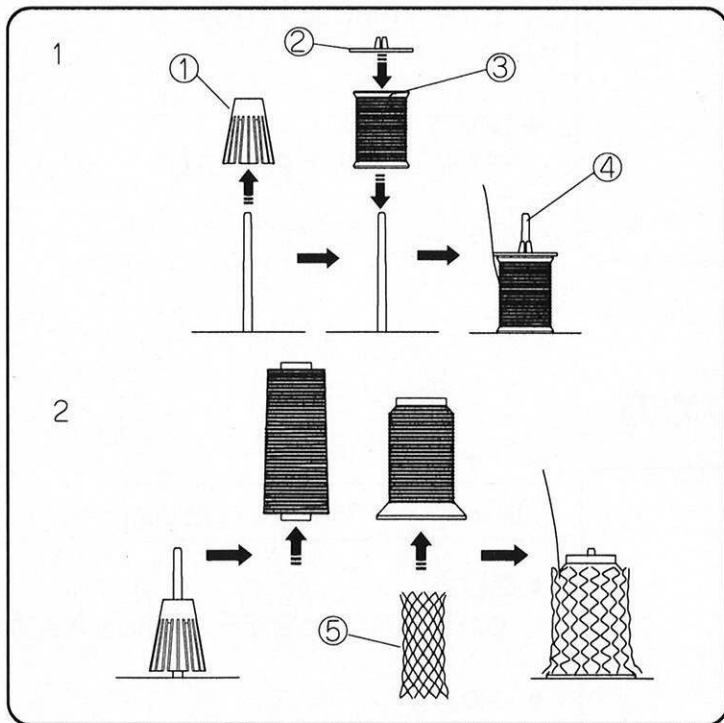
1.糸掛けスタンドをいっぱい伸ばします。

2.糸掛けが糸立て棒の真上にくるように、糸掛けスタンドを回転させて、ストッパーで位置を決めます。

\*ストッパーは図のように2ヶ所ありますので、必ず2ヶ所ともきちんと位置を決めます。

- ①糸掛けスタンド
- ②糸掛け
- ③ストッパー
- ④糸立て棒

## ●糸こま押さえ、糸こまネット（別売品）のつけ方



このミシンは、こま巻き糸と、チーズ巻き糸が使用できます。

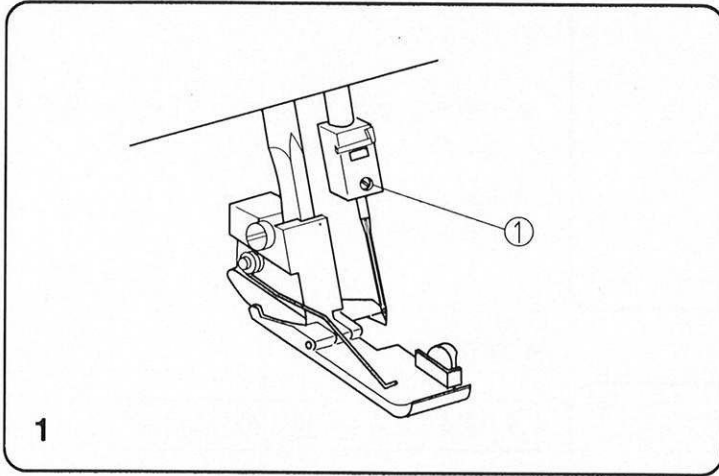
1.こま巻き糸は、糸こまホルダーをはずして切り欠きのあるほうを上にして、別売品の糸こま押さえをはめてください。

2.チーズ巻き糸は糸こまホルダーを使います。特に化繊糸などの巻きがくずれやすい糸を使用するときは、別売品の糸こまネットを下からかぶせてご使用ください。

- ①糸こまホルダー
- ②糸こま押さえ
- ③切り欠き
- ④糸立て棒
- ⑤糸こまネット



## ● 針のとりかえ方



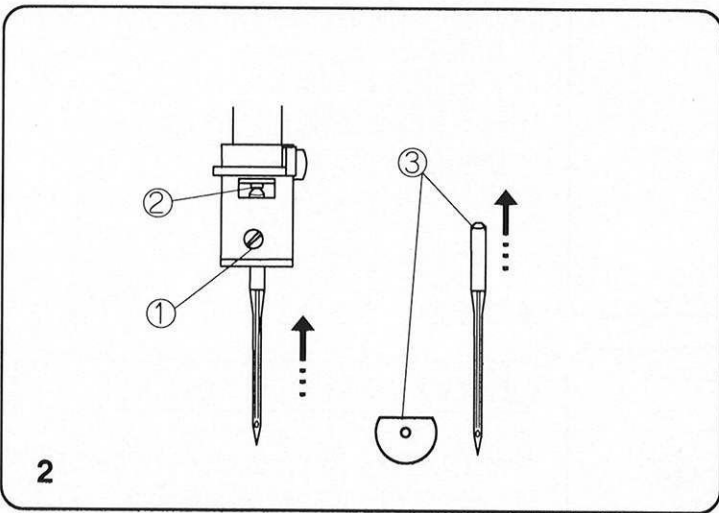
\*針はHA x 1 SPの11番または14番をお使いください。

⚠電源スイッチを切ってください。

### 1. 針をはずすとき

針を上げ、針止めねじをゆるめて、針をはずします。

①針止めネジ



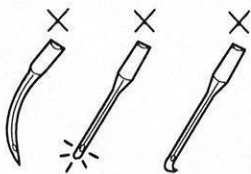
### 2. 針をつけるとき

針止めの穴に、針の平らな面を向こう側に向けて、針棒のピンにあたるまでさしこみ、針止めねじをかたくしめます。

①針止めねじ

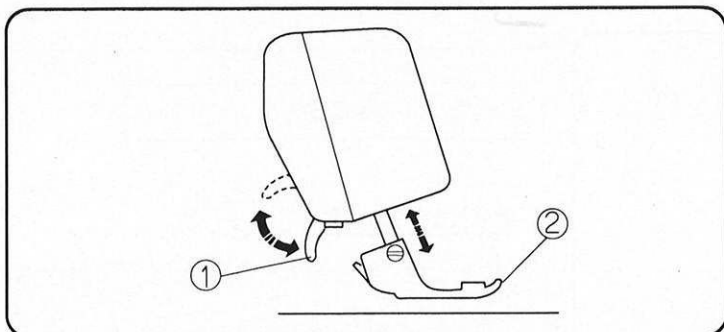
②ピン

③平らな面を向こう側にする



⚠全体にまがった針や、針先のまがったりつぶれた針は、使用しないでください。

## ● 押さえのあげ方、さげ方

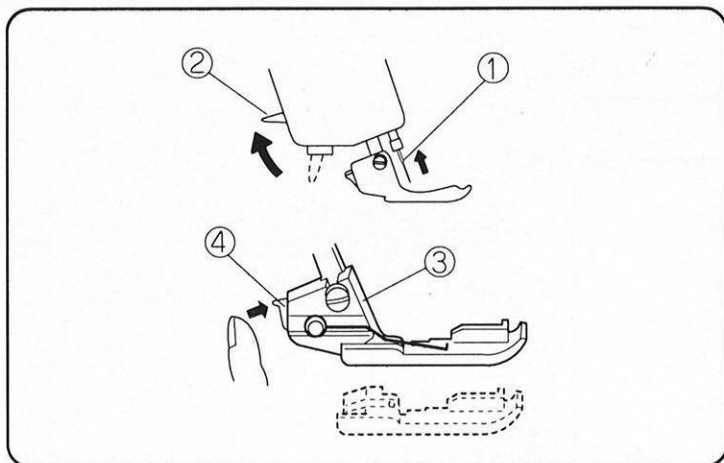


押さえをあげさげするときは、押さえ上げを上下に動かします。

\*一般的に、糸を通し直すとき以外は、押さえをさげたままにして使用します。

- ①押さえ上げ
- ②押さえ

## ● 押さえのはずし方、つけ方



### ◆はずし方

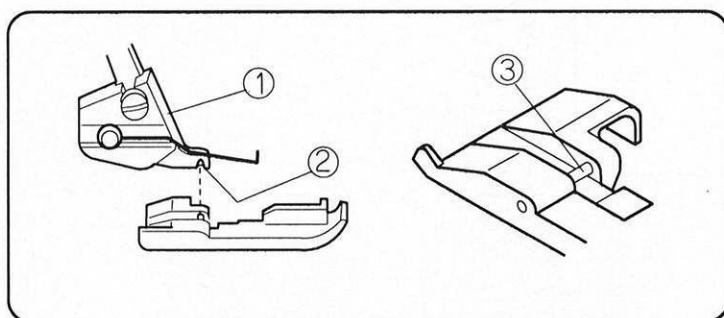
⚠電源スイッチを切ってください。

1. 針をあげ、押さえ上げをあげます。
2. 押さえホルダーのレバーを押して、押さえをはずします。

- ①針
- ②押さえ上げ
- ③押さえホルダー
- ④レバー

### ◆つけ方

⚠電源スイッチを切ってください。

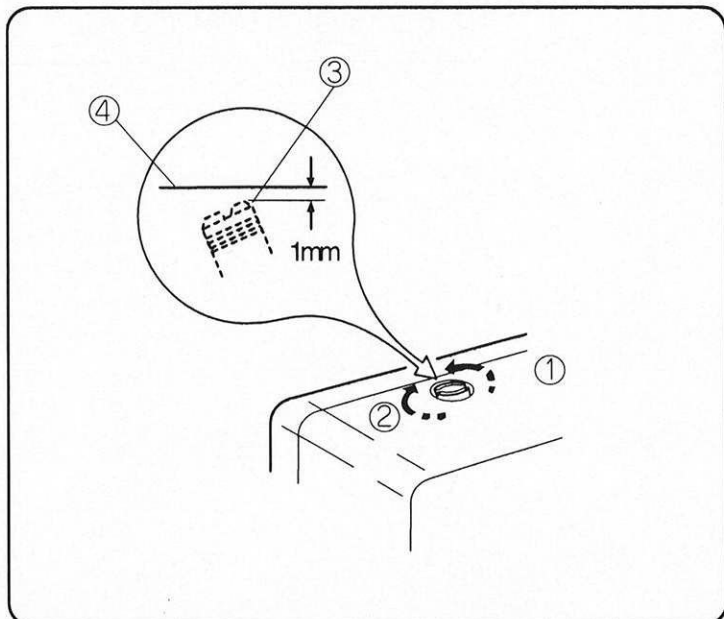


押さえのピンを押さえホルダーのみぞの真下において、押さえ上げを下げれば自動的にセットされます。

\*押さえ上げをあげ、押さえが確実に付いていることを確認してください。

- ①押さえホルダー
- ②みぞ
- ③ピン

## ● 押さえ圧の調節



\*このミシンは、通常、押さえ圧を調節する必要はありませんが、極薄もの、極厚ものとき押さえ圧調節ねじで調節してください。

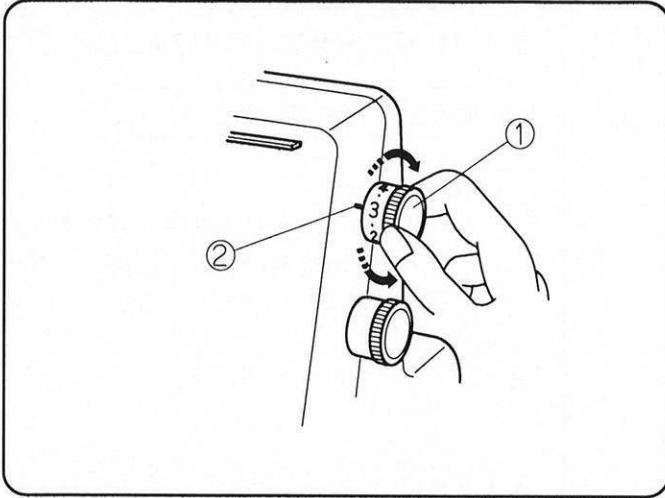
- ・極薄ものときは、圧力を弱くします。
- ・極厚ものときは、圧力を強くします。

\*縫い終わったら、押さえ圧調節ねじは標準位置にもどしておいてください。

押さえ圧調節ねじの標準位置は、ミシンの上面からおよそ1mm位低い位置です。

- ①圧力が弱くなる
- ②圧力が強くなる
- ③押さえ圧調節ねじ
- ④ミシンの上面

## ●縫い目の長さ（送り目）の調節

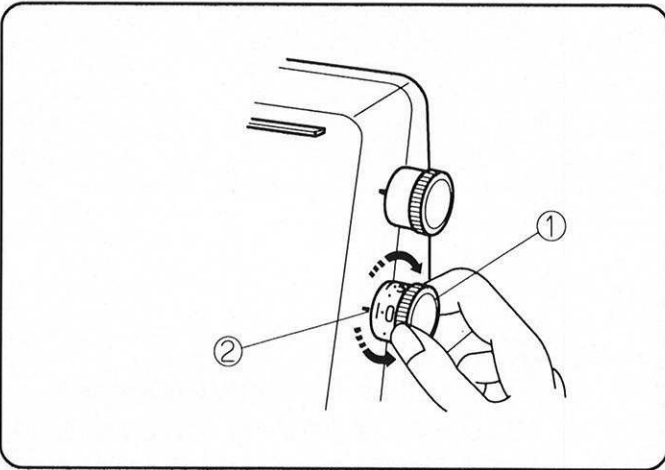


縫い目の長さ（送り目）の調節で、縫いの種類に応じた縫い目の長さ（送り目）を選ぶことができます。縫い目の長さ（送り目）ダイヤルをまわして、目盛を指示線に合わせます。

- \* 厚い布はあら目に、薄い布はこまか目に調節します。
- \* 縫い目の長さ（送り目）は、最小1mmから最大4mmまで調節できます。
- \* 目盛「R」は、標準巻きロックまたは変形巻きロックをするときの縫い目の長さ（送り目）で、約1.5mmです。
- \* ダイヤルをまわしてクリック感の大きい位置が標準の約3mmの位置です。

- ①縫い目の長さ（送り目）ダイヤル
- ②指示線

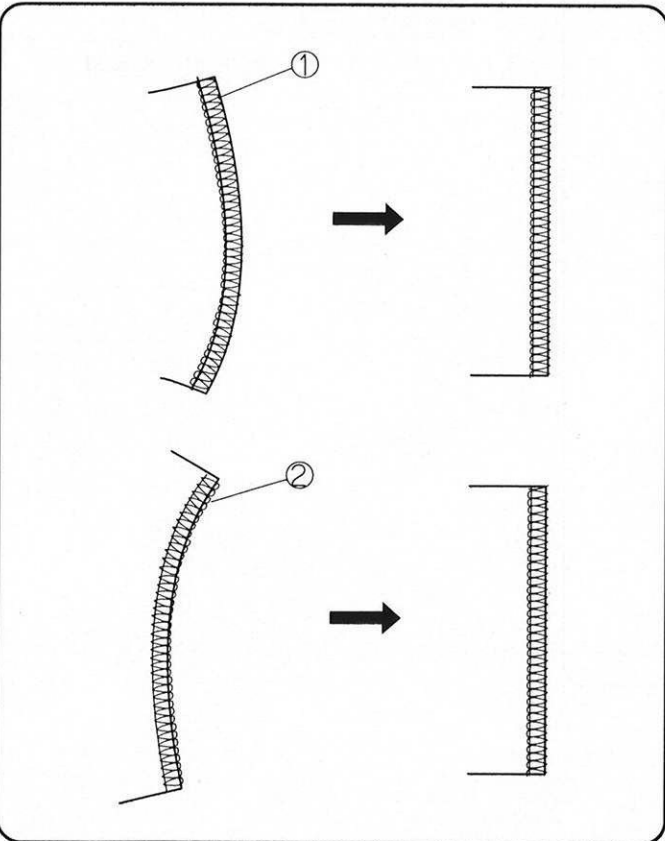
## ●差動送り（伸縮）の調節



布の縫い伸び、縫い縮みを直すときに使用します。

- \* 差動送り（伸縮）目盛「1.0」は差動比1.0を表し、差動送り（伸縮）のかかっていない状態です。
- \* 目盛が1.0より大きいと布を縮ませながら縫う状態になり、1.0より小さいと布を伸ばしながら縫う状態になります。
- \* ダイヤルをまわしてクリック感の大きい位置が標準の1.0の位置です。

- ①差動送り（伸縮）ダイヤル
- ②指示線



### ◆ 布地が伸びてしまうときの直し方

差動送り（伸縮）ダイヤルを手前側へまわし「2.2」の方へ大きくするに従い、縫い伸び防止の効果が高まります。

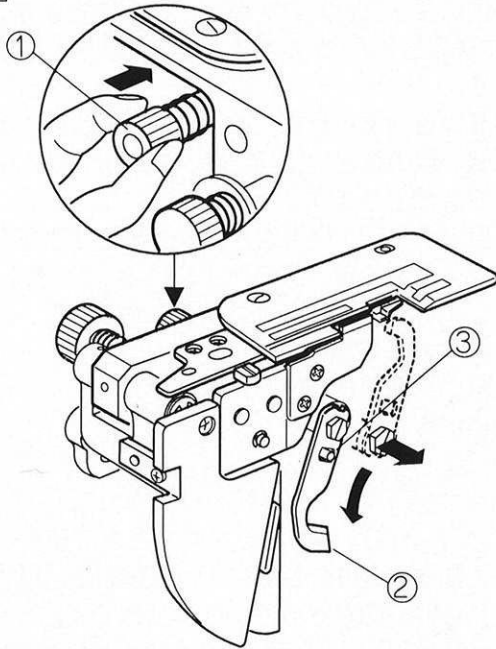
### ◆ 布地が縮んでしまうときの直し方

差動送り（伸縮）ダイヤルを向こう側へまわし「0.5」の方へ小さくするに従い、縫い縮み防止の効果が高まります。

- ①縫い伸びする布
- ②縫い縮みする布

## ●上メスの解除ともどし方

1



上メスの駆動と解除を上メスつまみで切りかえられます。縫い目の種類に合わせて切りかえてください。

⚠ 電源スイッチを切ってください。

### 1 解除のし方

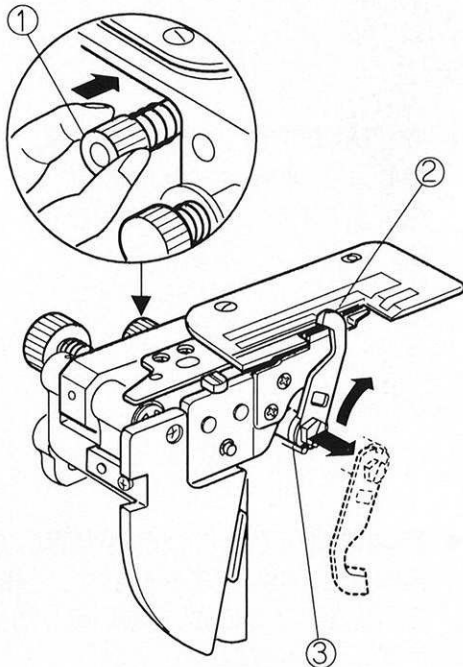
1. ルーパーカバーと布板をひらきます。
2. 上メスつまみを右いっぱい押しながら、手前にまわしてストッパーピンを上メスの穴に入れます。
3. ルーパーカバーと布板をしめます。

①上メスつまみ

②上メス

③ストッパーピン

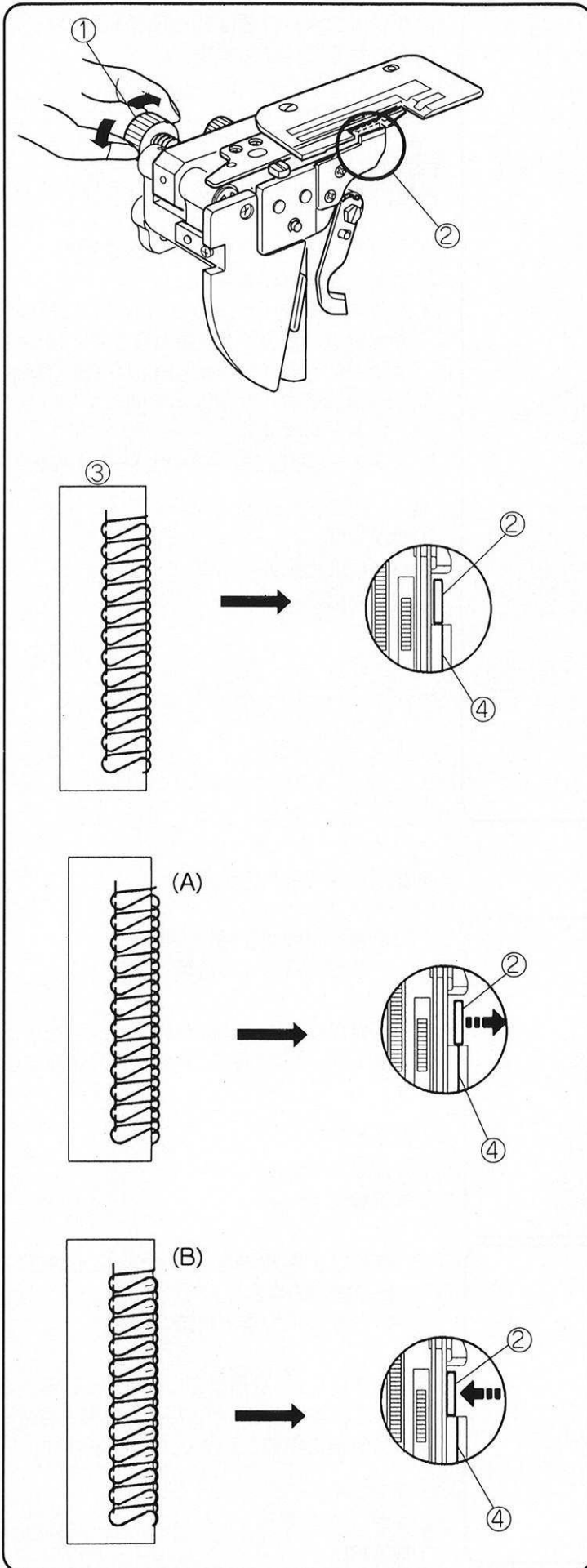
2



### 2 もどし方

1. ルーパーカバーと布板をひらきます。
2. 上メスつまみを右へいっぱい押しながら、向こう側にまわしてストッパーピンを上メスの下側の溝に入れます。
3. ルーパーカバーと布板をしめます。

## ●切り幅の調節



布端と縫い目が合っていないときは、切り幅を調節します。その上で、きれいに合わないときは糸調子の調節をします。

切り幅の調節は次のように操作します。

⚠ 電源スイッチを切ってください。

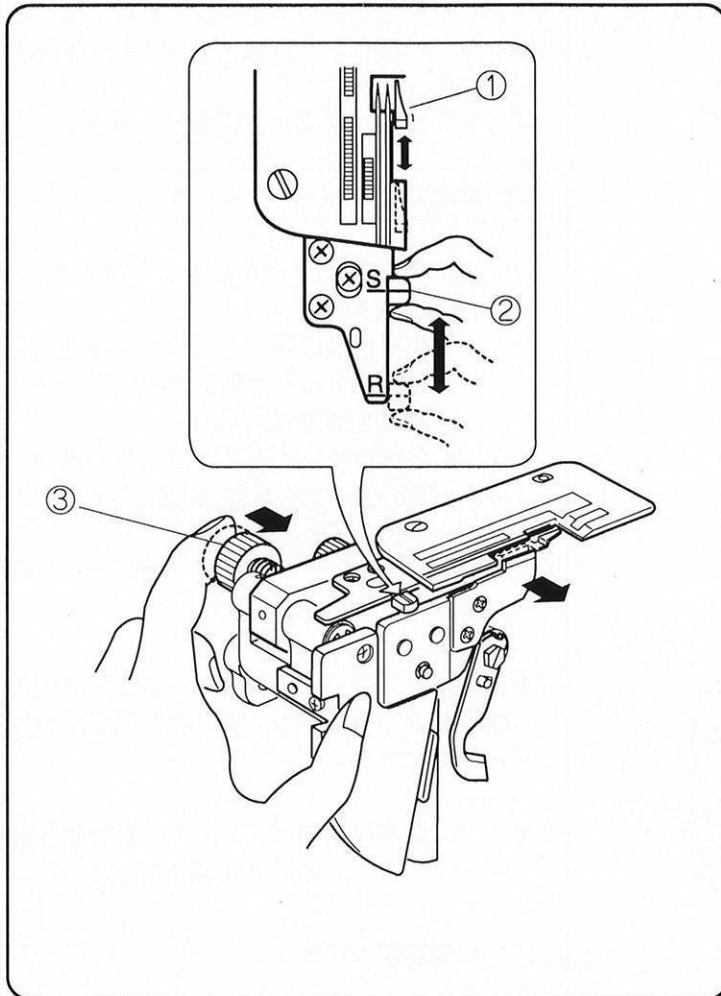
1. ルーパーカバーと布板をひらきます。
2. 上メスを解除します。
3. (A)布端が縫い目にとどかない場合、切り幅調節ダイヤルを手前にまわして下メスを右へ移動します。  
(B)布端が余りすぎてシワになる場合、切り幅調節ダイヤルを向こう側にまわして下メスを左に移動します。
4. 上メスをもどし、ルーパーカバーと布板をしめます。

\*このミシンは、針から約3mmから5mm幅まで切り幅を調節できますが、使用する布に合わせて調節してください。

\*下メスの標準位置は、下メスの右端面と針板のガイドラインが一致する位置です。

- ①切り幅調節ダイヤル
- ②下メス
- ③布端と縫い目が合っている。
- ④針板のガイドライン

## ●縁かがり縫いと巻きロックの切りかえ(かがり爪つまみ位置の切りかえ)



かがり爪つまみ位置はSとRがあり、縫い目の種類に合わせて切りかえます。

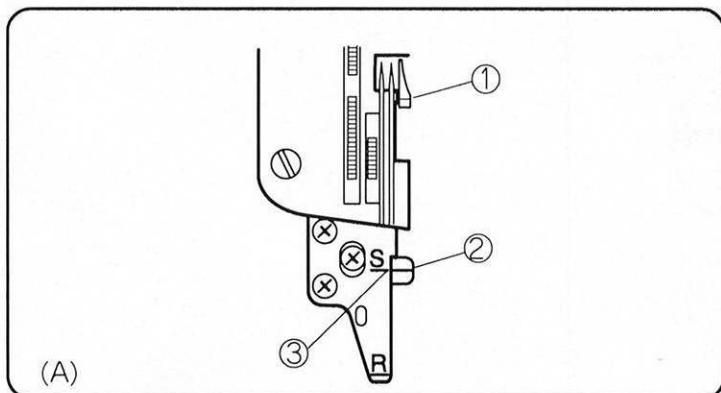
### ◆切りかえ方

⚠電源スイッチを切ってください。

1. ルーパーカバーと布板をひらきます。
2. 上メスを解除します。
3. 切り幅調節ダイヤルを右いっぱい押しながら、かがり爪つまみを、普通の縁かがり縫いのときは「S」側へ、巻きロックの時は「R」側へ移動します。
4. 切り幅調節ダイヤルは手をゆっくりはなせば、もとにもどります。
5. 上メスをもどし、ルーパーカバーと布板をしめます。

- ①かがり爪
- ②かがり爪つまみ
- ③切り幅調節ダイヤル

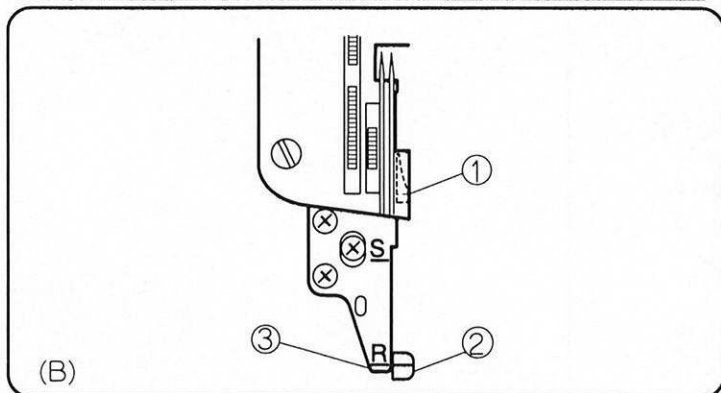
### \*かがり爪つまみの位置



(A) 普通の縁かがり縫いの場合  
かがり爪つまみ位置：S側

普通の縁かがり縫いでは布縁でかがり糸を支えるため、(A)のようにかがり爪を針板の側面に位置させます。

- ①かがり爪
- ②かがり爪つまみ
- ③指示線S

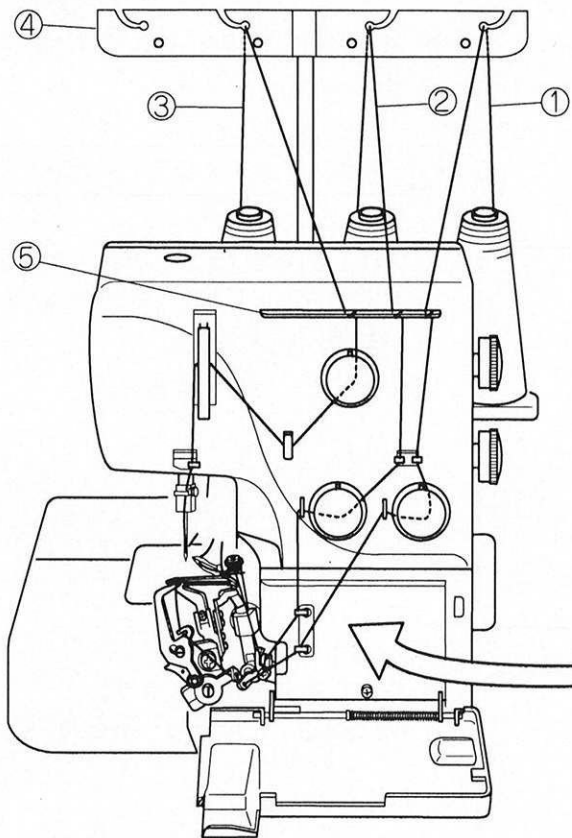


(B) 巻きロック(標準巻きロック、変形巻きロック)、ピコ縫いの場合  
かがり爪つまみ位置：R側

標準巻きロック、変形巻きロック、ピコ縫いでは布縁を巻きこみますから、かがり爪は不要となり、(B)のように針板の下側に引き込んでおきます。

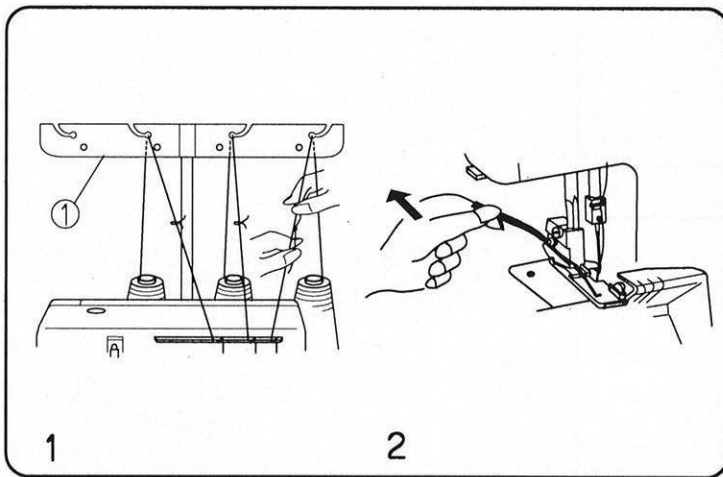
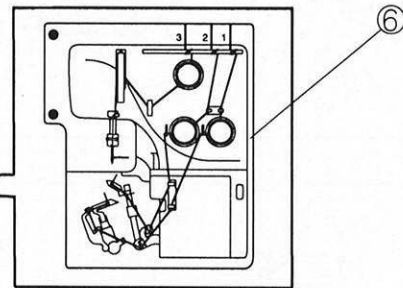
- ①かがり爪
- ②かがり爪つまみ
- ③指示線R

## ●糸の通し方



左の図は3本の糸を通し終わった状態です。

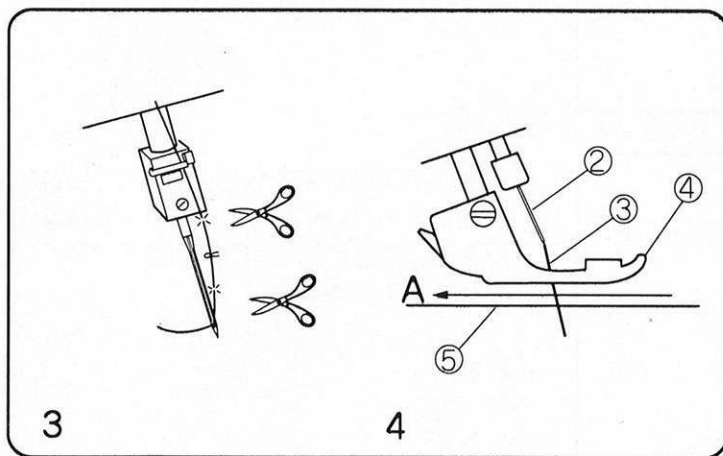
- ①下ルーパー糸
- ②上ルーパー糸
- ③針糸
- ④糸掛けスタンド
- ⑤糸案内板
- ⑥糸道案内図



このミシンは、あらかじめ糸がセットしてありますが、ご使用になる糸に交換するときは、次のようにすると、容易に糸が通せます。

**⚠ 電源スイッチを切ってください。**

1. 糸こまから引き出した糸を糸掛けスタンドの糸掛けに通してから糸をつないでください。
2. 押さえ上げをあげ、結び目を押さえの下から向こう側へ出るまで引き出します。
3. ただし、針糸を引き出すときは、結び目を針穴の手前で止め、結び目を切ってから針穴に通します。
4. 縫い始める前に、押さえの下で針糸を払って、針糸が針板の下にないことを確認してから、押さえの後ろへ10cmほど各糸を引き出します。(A方向に針糸を払います。)
5. 押さえをおろして糸通しは終了です。

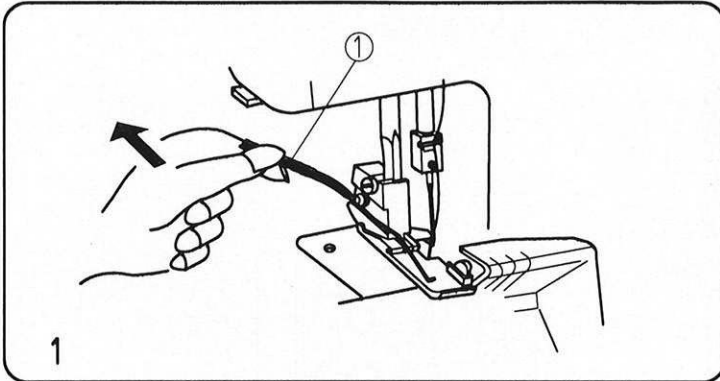


- ①糸掛けスタンド
- ②針
- ③針糸
- ④押さえ
- ⑤針板

◆新たに糸を通すときは、下ルーパー糸、上ルーパー糸、針糸の順が通しやすいやり方です。順序が違ってても、最後に押さえの下で針糸を後ろに払って、針糸が針板の下にないことを確認してから押さえの後ろへ10cmほど各糸を引き出しておけば糸通しは終了です。

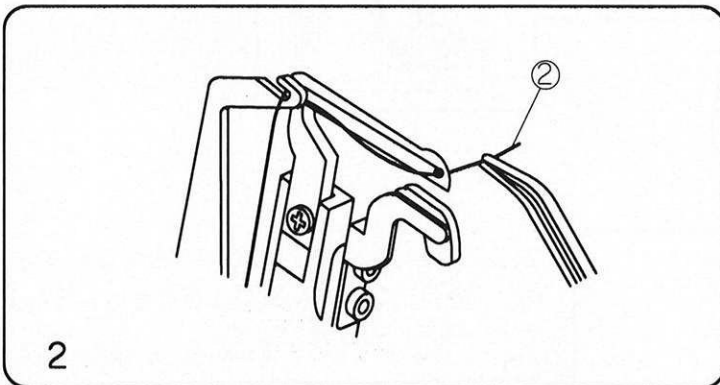
◆ 糸が1本だけ切れて通し直すときは次のようにします。

**⚠ 電源スイッチを切ってください。**



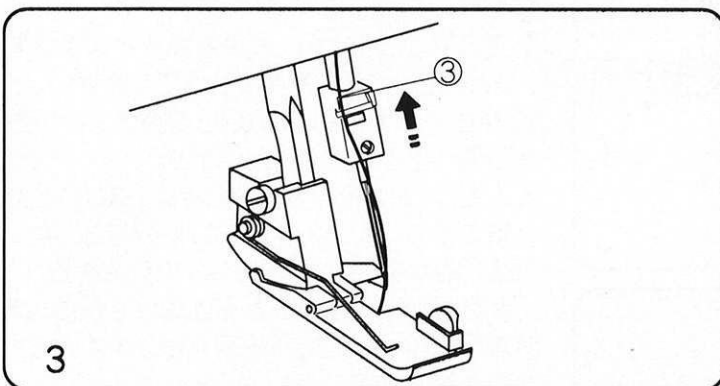
1. 切れてない残りのからみ合った糸を押さえの後ろまで引き出して切り、糸どうしがからまっていない状態にします。

①からみ合った糸を切る



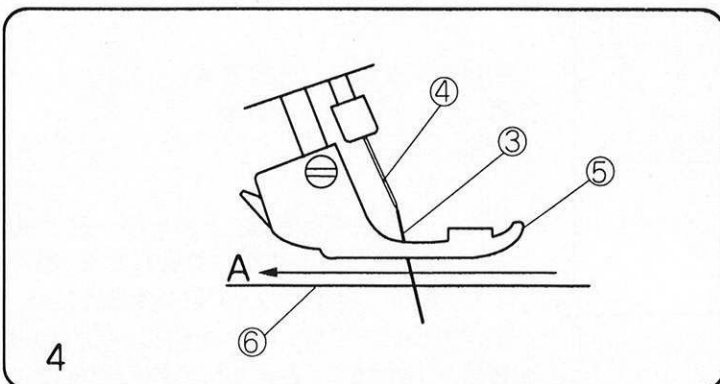
2. 切れた糸を通し直します。  
(たとえば、下ルーパー糸を通し直します。)

②下ルーパー糸



3. はずみ車を手前にまわし、針を上いっぱいまであげます。

③針糸



4. 押さえの下針糸を後ろに払って、針糸を針板の上に引き出し、押さえの後ろへ10cmほど各糸を引き出しておけば、糸通しは終了です。(A方向に針糸を払います。)

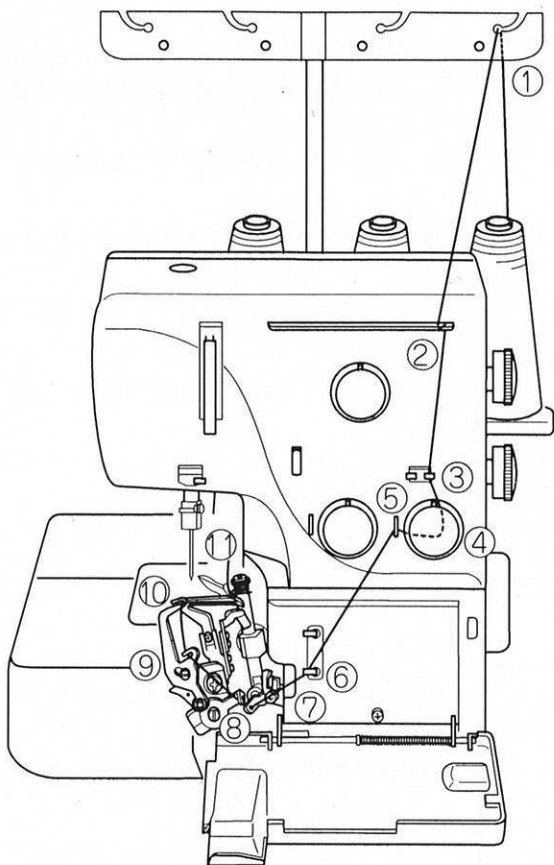
③針糸

④針

⑤押さえ

⑥針板





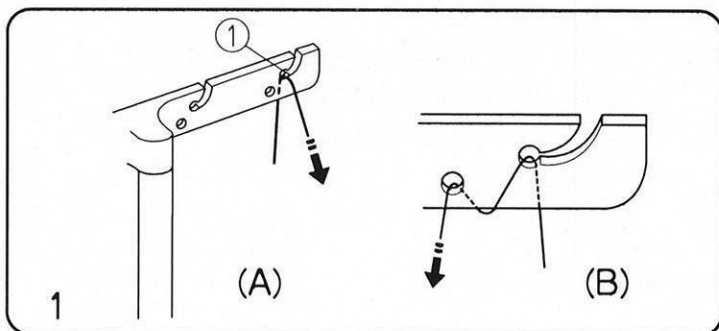
◆ 下ルーパー糸の通し方

\* 緑色マークの糸道を通してください。

\* ルーパーカバーをひらきます。

\* 糸道案内図は、ルーパーカバーの内側にあります。

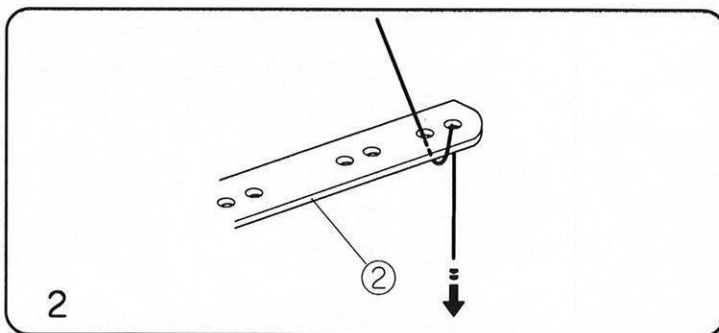
⚠ 電源スイッチを切ってください。



1. 糸こまから引き出した糸を、右側の糸掛けに掛けます。

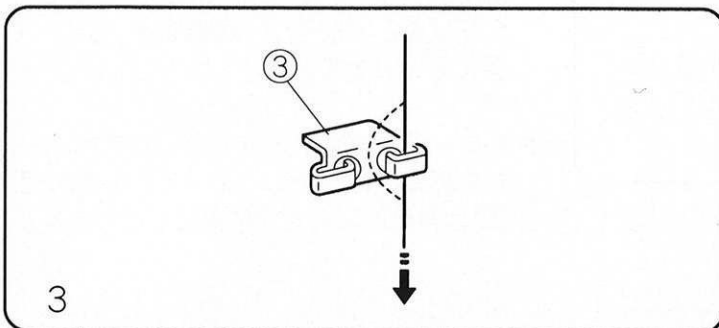
① 糸掛け

\* 通常は(A)のように糸を掛けますが、糸掛けから外れやすい糸は(B)のように穴にもう一度通します。



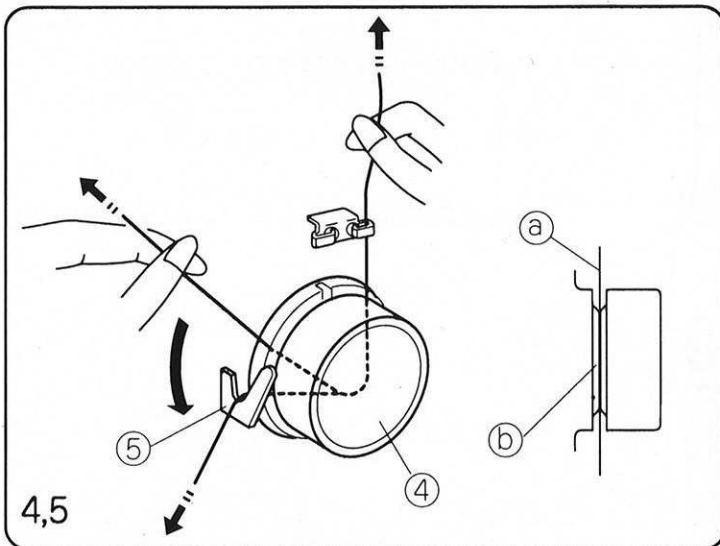
2. 糸を糸案内板の一番右側の2つの穴に通します。

② 糸案内板



3. ルーパー糸案内の右側に左から右に掛けます。

③ ルーパー糸案内



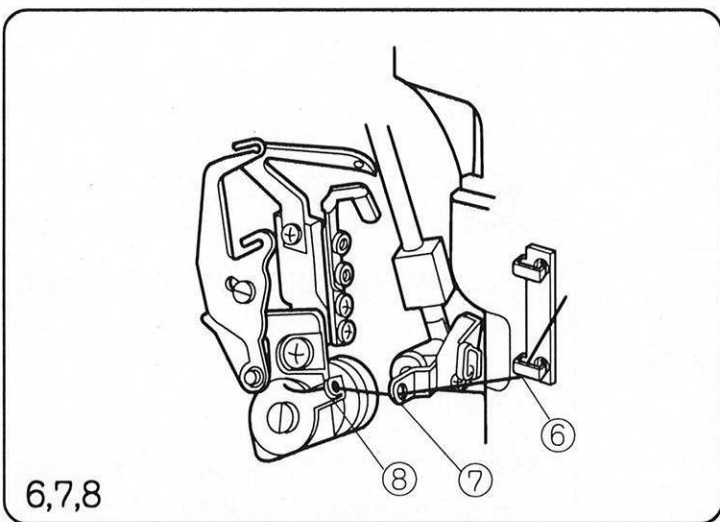
4. 右手で糸を押さえて、左手で糸の先端を引き、下ルーパー糸調子器の糸調子皿の間に入れます。

5. 下ルーパー糸案内(1)に掛けます。

\*糸は必ず糸調子皿の間に確実に入れてください。

④下ルーパー糸調子器 ⑤下ルーパー糸案内(1)

Ⓐ糸 ⑩糸調子皿(両側)



6. 下ルーパー糸案内(2)に掛けます。

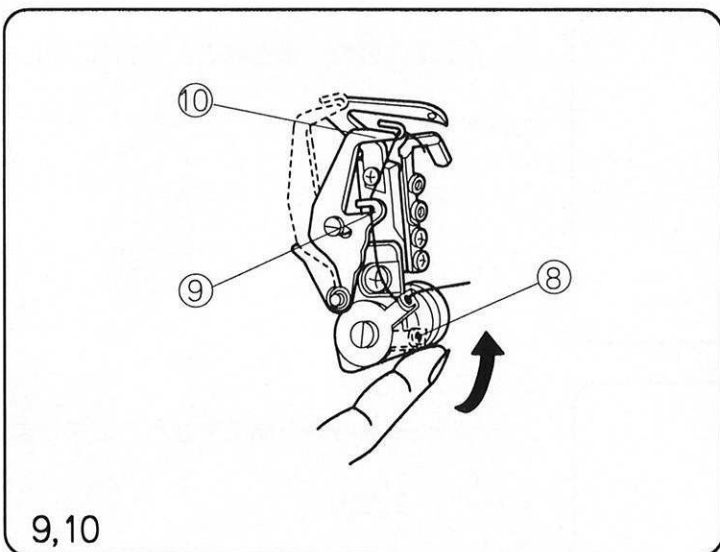
7. はずみ車を回して、ルーパー天秤(下)を掛けやすい位置にしてから糸を通します。

8. 下ルーパー糸案内(3)に糸を通します。

⑥下ルーパー糸案内(2)

⑦ルーパー天秤(下)

⑧下ルーパー糸案内(3)



9. はずみ車を回して、下ルーパーを最右点にして下ルーパー糸案内(3)を持ち上げると、下ルーパー糸案内(4),(5)が上方に現われます。

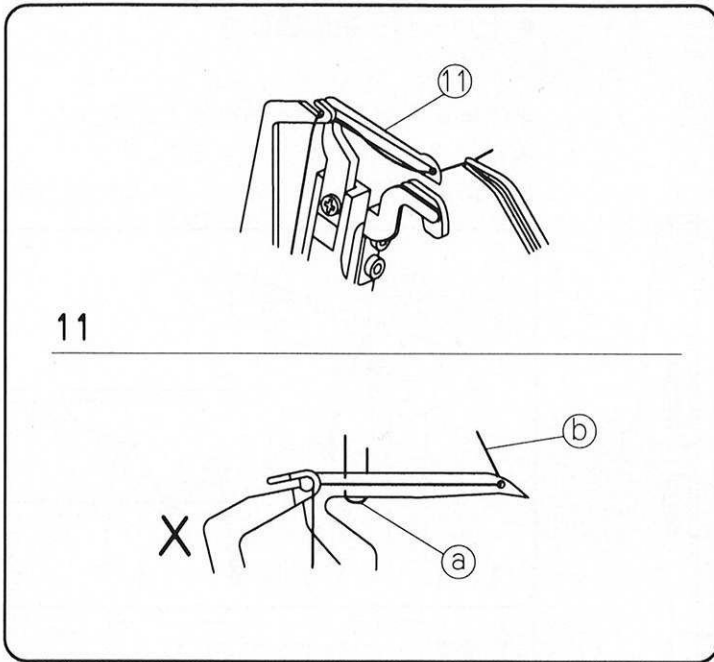
⑧下ルーパー糸案内(3)

⑨下ルーパー糸案内(4)

⑩下ルーパー糸案内(5)

10. 下ルーパー糸案内(4),(5)に糸を掛けます。糸の先端を持って、下ルーパー糸案内(3)を指で軽く押し下げると下ルーパー糸案内(4),(5)は、もとの位置にもどります。

\*下ルーパー糸案内(3)をもどしわすれても、はずみ車を手前にまわすと、下ルーパー糸案内(3),(4),(5)は自動的にもとの位置にもどります。

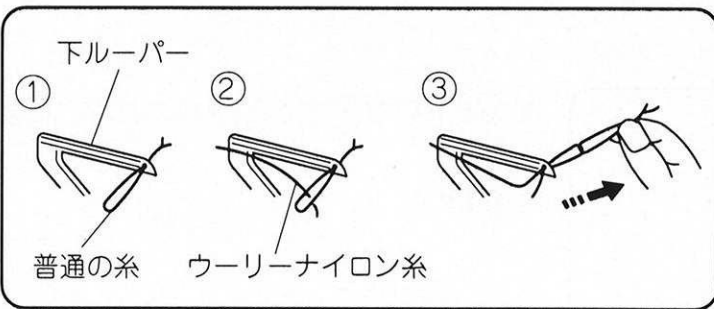


11. はずみ車を回して、再び下ルーパーを最右点にします。下ルーパー糸穴に糸を通し、糸端は、糸穴から10cmほど引き出しておきます。

\*この際、先に針糸が通っていて下ルーパーが針糸ループを通り抜けた状態で下ルーパー糸を通しますと、針糸が下ルーパーから抜けられないので正しく縫えません。針糸を下ルーパーからはずして、下ルーパー糸を通してください。

12. ルーパーカバーをしめます。

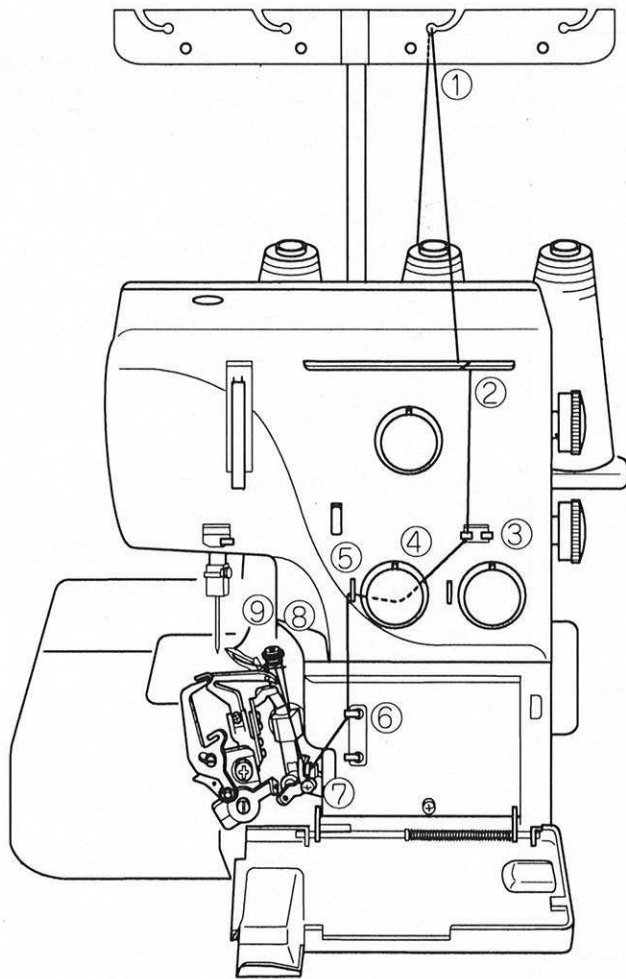
- ① 下ルーパー
- ② 針糸
- ③ 下ルーパー糸



#### ◆ウーリーナイロン糸の通し方

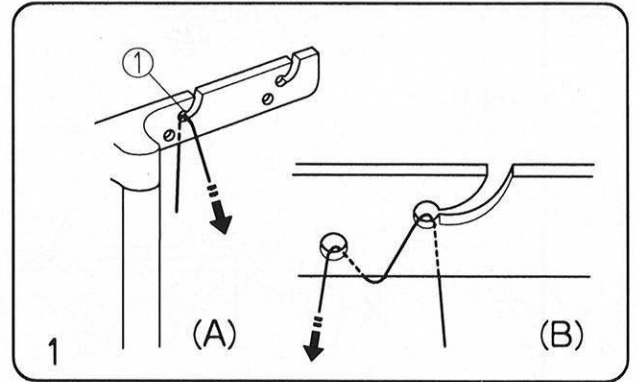
下ルーパーの穴に通しにくいウーリーナイロン糸は、左図の方法で通します。

\*上ルーパーの場合にも、同じ方法で糸通しをしてください。



### ◆ 上ルーパー糸の通し方

- \* 赤色マークの糸道を通してください。
- \* ルーパーカバーをひらきます。
- \* 糸道案内図は、ルーパーカバーの内側にあります。



⚠ 電源スイッチを切ってください。

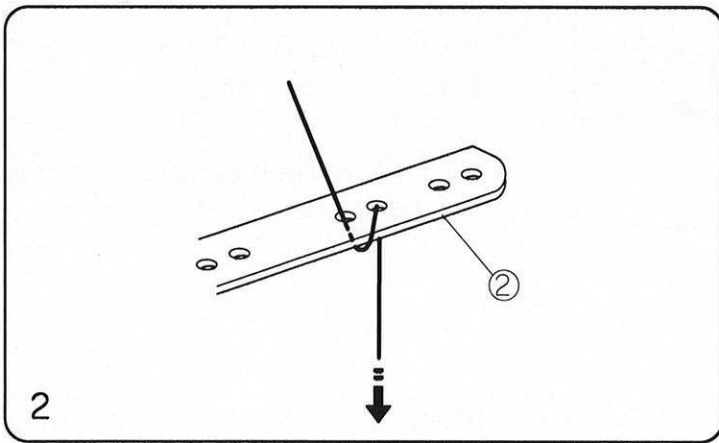
1. 糸こまから引き出した糸を、右から2番目の糸掛けに掛けます。

#### ① 糸掛け

- \* 通常は(A)のように糸を掛けますが、糸掛けから外れやすい糸は(B)のように穴にもう一度通します。

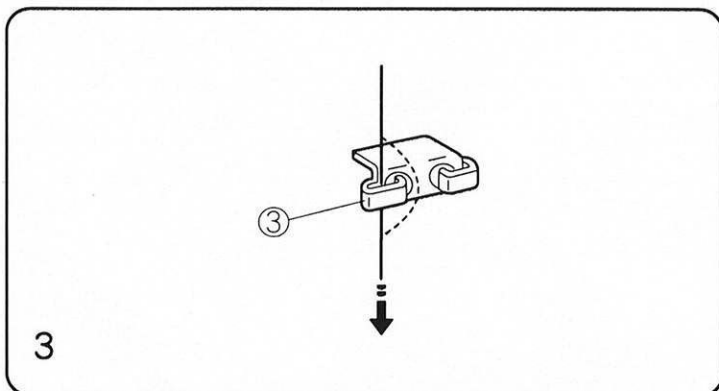
2. 糸を糸案内板の右から2番目の2つの穴に通します。

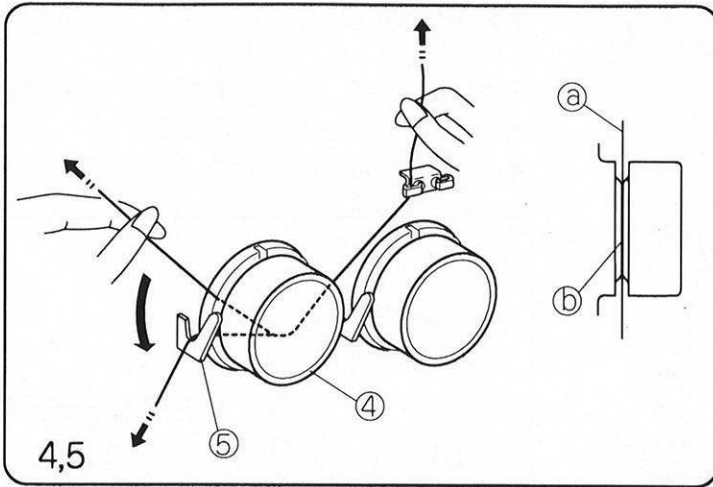
#### ② 糸案内板



3. ルーパー糸案内の左側に右から左に掛けます。

#### ③ ルーパー糸案内



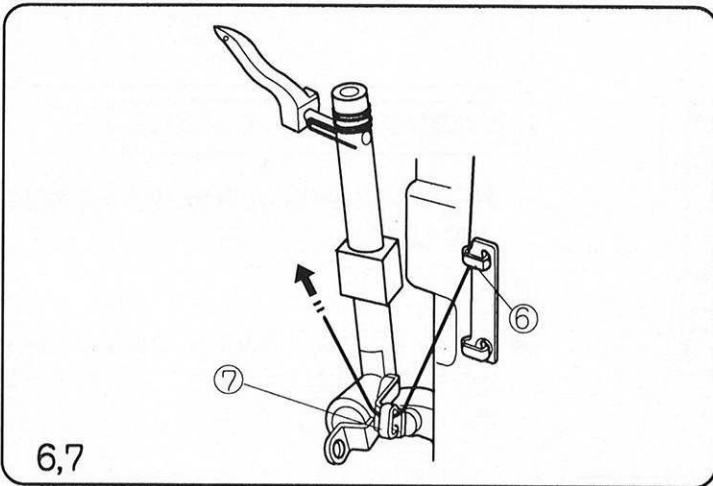


4. 右手で糸を押さえて、左手で糸の先端を引き、上ルーパー糸調子器の糸調子皿の間に入れます。

5. 上ルーパー糸案内(1)に掛けます。

\*糸は必ず糸調子皿の間に確実に入れてください。

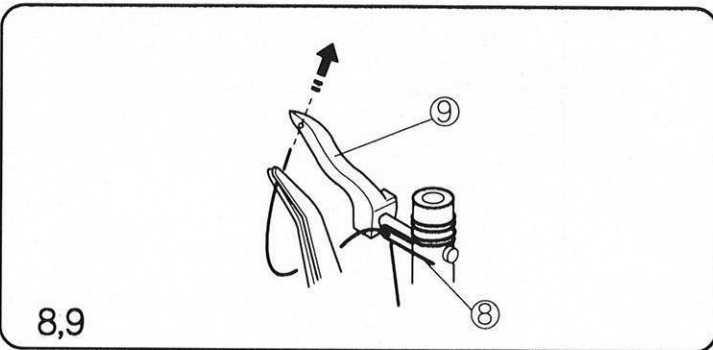
- ④上ルーパー糸調子器
- ⑤上ルーパー糸案内(1)
- Ⓐ糸
- ⓐ糸調子皿(両側)



6. 上ルーパー糸案内(2)に掛けます。

7. はずみ車を回してルーパー天びん(上)を掛けやすい位置にしてから、糸を掛けます。

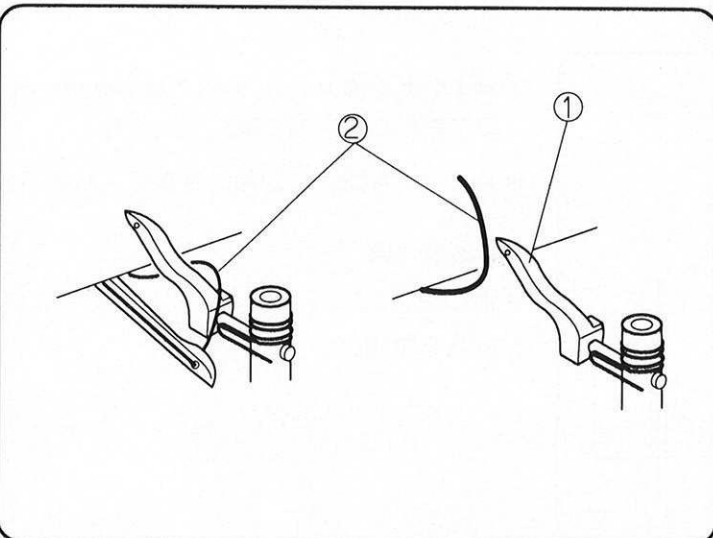
- ⑥上ルーパー糸案内(2)
- ⑦ルーパー天びん(上)



8. 上ルーパー糸案内(3)に掛けます。

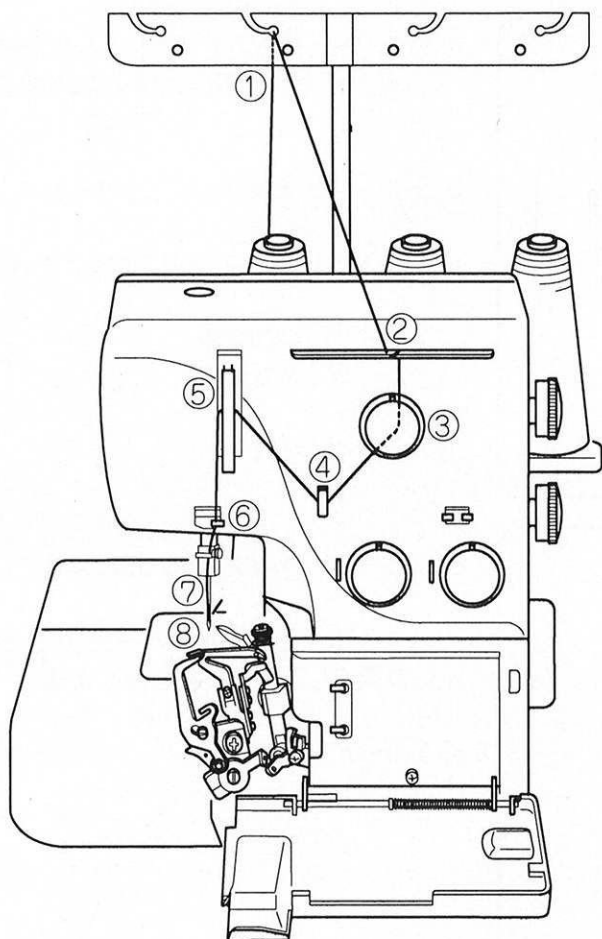
9. 上ルーパーの糸穴にピンセットで糸を通し、糸はしは糸穴から10cmほど引き出しておきます。ルーパーカバーをしめます。

- ⑧上ルーパー糸案内(3)
- ⑨上ルーパー



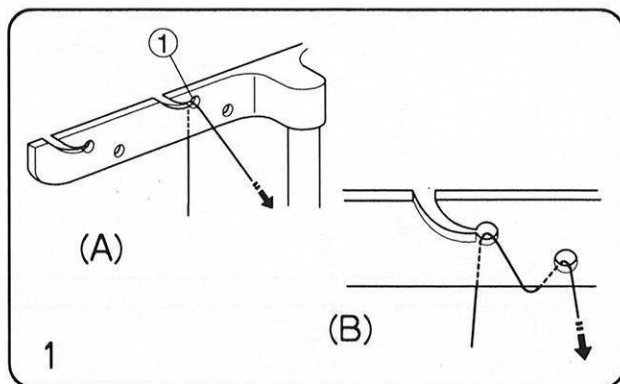
\*上ルーパーに糸を通すとき、上ルーパーに下ルーパー糸がかかっているときは、下ルーパー糸をはずして上ルーパー糸を通してください。

- ①上ルーパー
- ②下ルーパー糸



### ◆ 針糸の通し方

- \* オレンジ色マークの糸道を通してください。
- \* ルーパーカバーをひらきます。
- \* 糸道案内図は、ルーパーカバーの内側にあります。



⚠ 電源スイッチを切ってください。

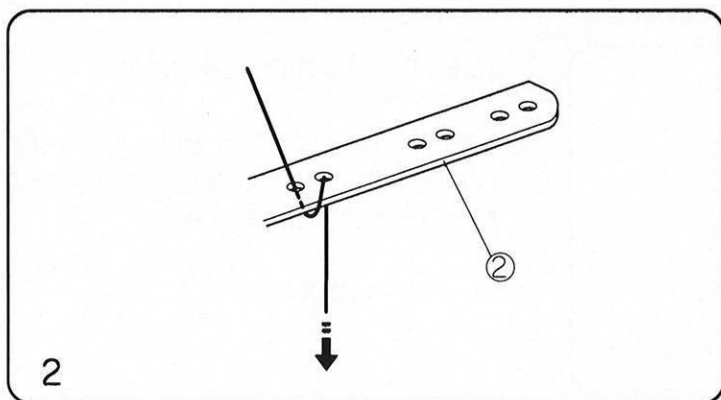
1. 糸こまから引き出した糸を、左から2番目の糸掛けに掛けます。

#### ① 糸掛け

\* 通常は(A)のように糸を掛けますが、糸掛けから外れやすい糸は(B)のように穴にもう一度通します。

2. 糸を糸案内板の左から2番目の2つの穴に通します。

#### ② 糸案内板



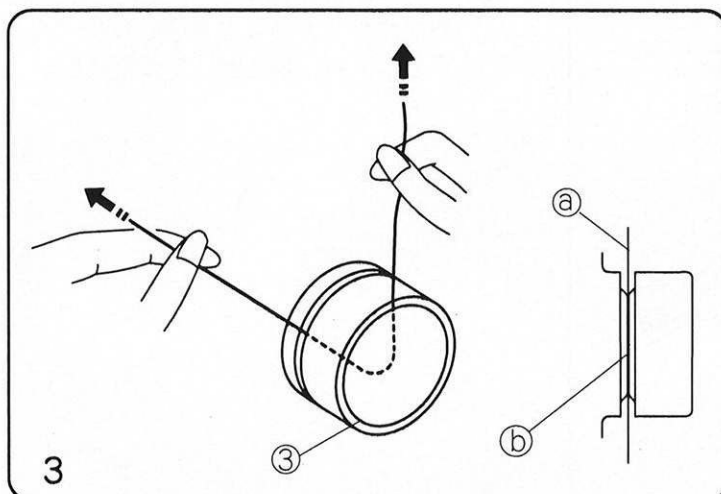
3. 右手で糸を押さえて、左手で糸の先端を引き、針糸調子器の糸調子皿の間に入れます。

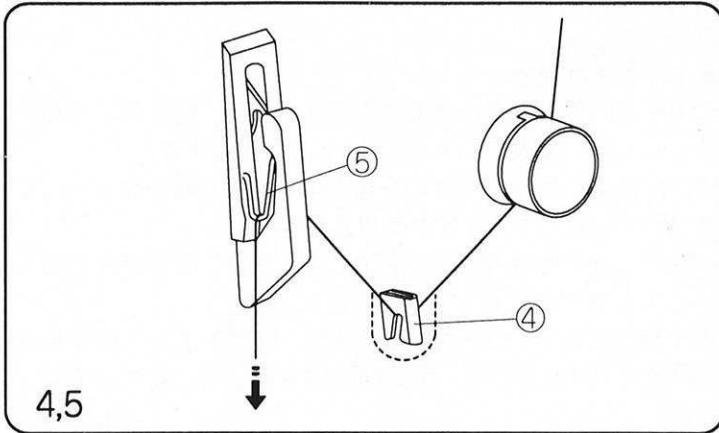
\* 糸は必ず糸調子皿の間に確実に入れて下さい。

#### ③ 針糸調子器

Ⓐ

Ⓑ 糸調子皿(両側)



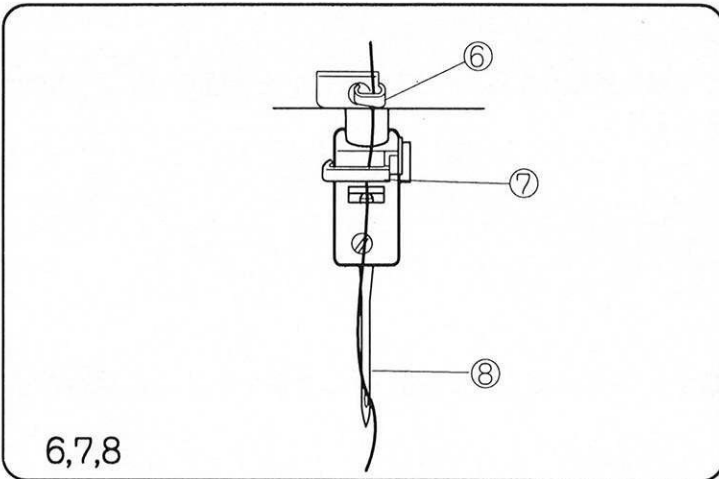


4. はずみ車を回して針を最上部にあげ、糸を針糸掛けに掛けます。

5. 天びん糸掛けに掛けます。

④針糸掛け

⑤天びん糸掛け



6. 針糸案内に左から右に掛けます。

7. 針棒糸掛けに掛けます。

8. 針穴に糸を手前から向こう側に通します。  
糸は、押さえの下から向こう側へ10cmほど引き出しておきます。

9. ルーパーカバーをしめます。

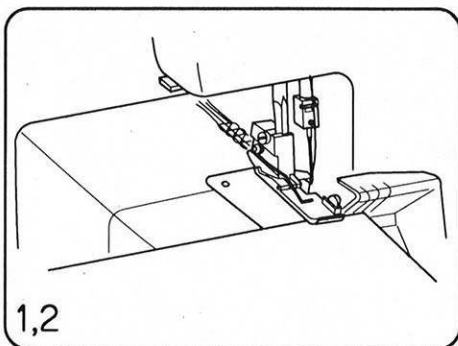
⑥針糸案内

⑦針棒糸掛け

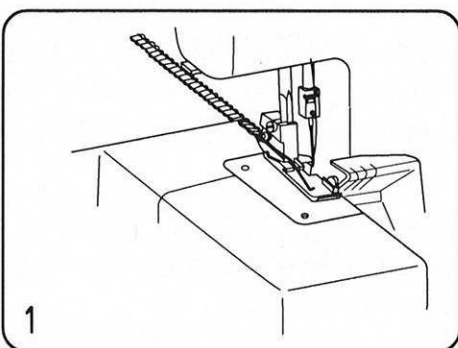
⑧針

## ● 試し縫いをしましょう

### ◆ 縫い始め

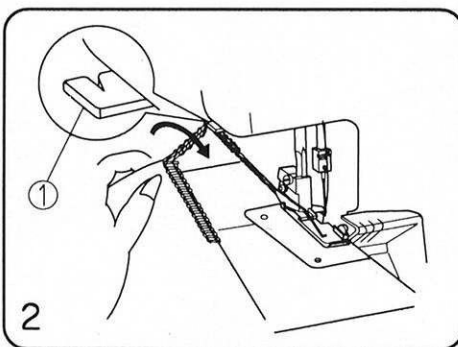


1. 押さえ上げを下げます。
  2. 各糸を押さえの下から向こう側に引きそろえて、軽く向こう側へ引きながらゆっくり縫い始め、5~6cm、カラ縫いをします。  
カラ縫いした糸のからみぐあい確かめながら、布をセットして縫い始めます(押さえをあげる必要はありません)。  
布は自動的に送られますから、手は、縫いたいと思う方向に布を導くだけにしてください。
- \*厚い布を縫うときは、押さえ上げをあげ、布地を上メスの手前まで差し入れ、押さえ上げをさげて、手で補助しながら縫い始めます。



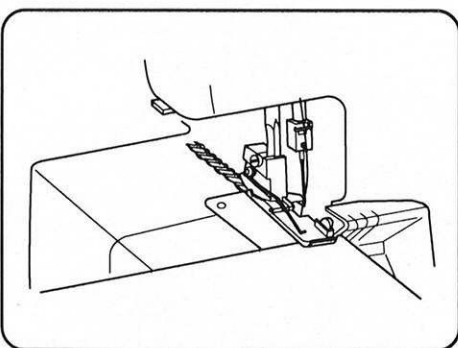
### ◆ 縫い終わり

1. 布端まで縫い終わったら、そのままミシンを低速で、約12~13cm、カラ縫いをします。



2. 布の端より5~6cm残し、カラ縫いをした糸を糸切りか、はさみで切ります。

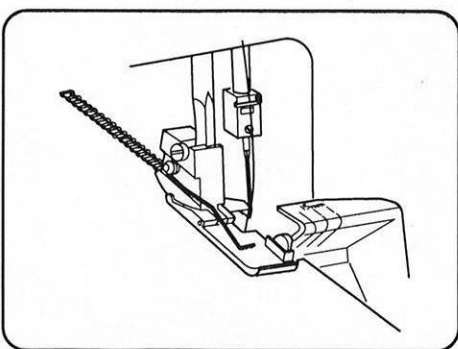
### ①糸切り



### ◆ つづけて縫うとき

押さえ上げをあげずに、つぎの布地を押さえの下に差し込むようにして縫います。

- \*厚い布を縫うときは、押さえ上げをあげ、布地を上メスの手前まで差し入れ、押さえ上げをさげて、手で補助しながら縫い始めます。



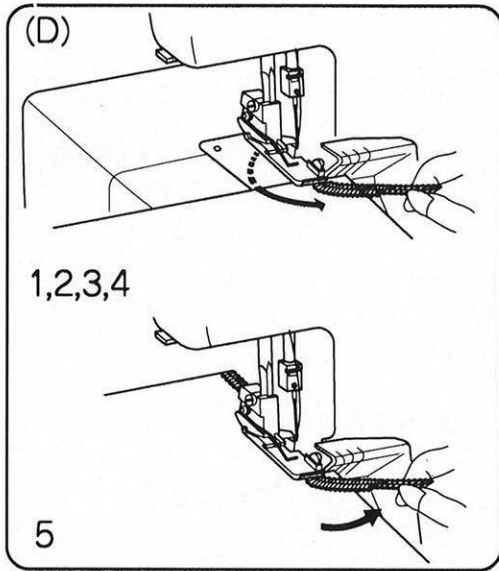
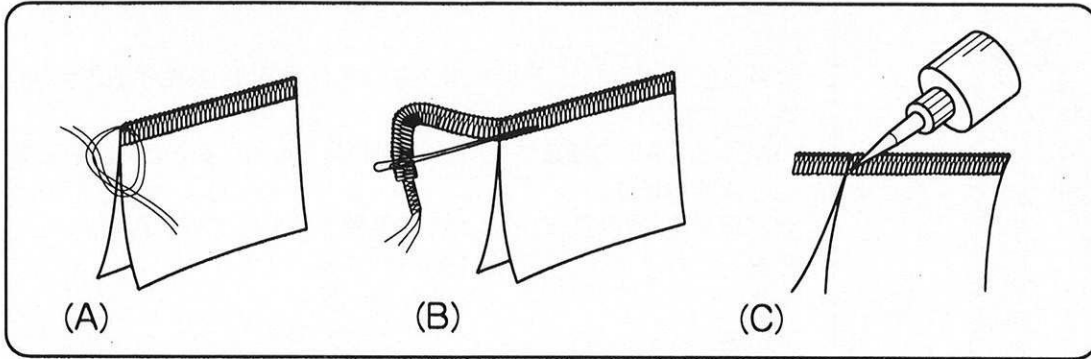
### ◆ ガイドラインの使い方

ルーパークーパーの上部には、針落ちからの距離を示すガイドラインが表示されています。

布縁から、縫い目までの目安としてお使いください。3本ある刻み線は、6mm間隔となっており、中央は針落ちから15mmです。



## ●縫い始め、縫い終わりの糸の始末、縫い目のほどき方



縫い始め、縫い終わりの糸をそのままにしておくとはつれてしまいます。縫い始め、縫い終わりの糸の始末には色々な方法がありますので、好みの方法をお選びください。

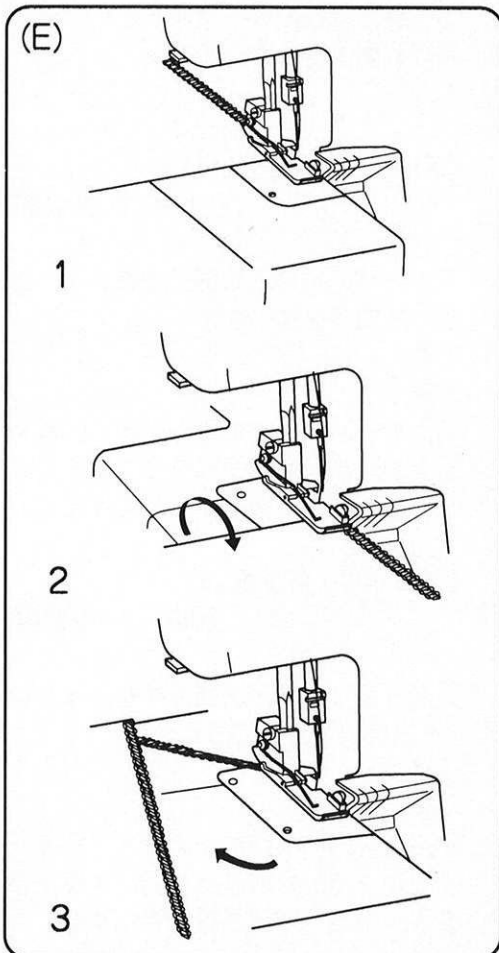
(A) 5cm位のカラ縫い糸をほどき、その糸を使って布端で結び目を作る方法。

(B) カラ縫い糸をとじ針で縫い目の中に入れる方法。

(C) 布端のカラ縫い糸の根元に手芸用ボンドを少し付け乾燥してから余分な糸を切り落とす方法。

(D) ロックミシンで縫い始めを始末する方法。

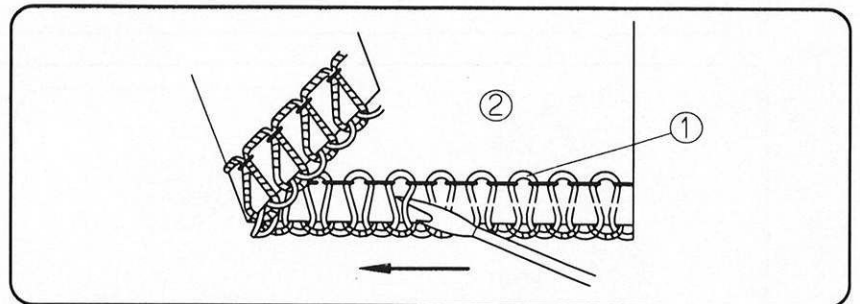
1. カラ縫い糸を5cm位出しておきます。
2. 布地を入れ、2~3針だけ縫います。
3. ミシンを止め、押さえをあげます。
4. カラ縫い糸を左から押さえの下に入れ、軽く手前に引きながら、押さえを下げ、布といっしょに縫い込みます。
5. 余分なカラ縫い糸は右に案内してメスで切り落とします。



(E) ロックミシンで縫い終わりを始末する方法。

1. 布地の終わりの所でミシンを止めます。
2. 針と押さえを上げ、布地をかがり爪からはずして裏返します。かがり幅を合わせて針を落とし、押さえをさげます。
3. 今まで縫った所がメスにあたらないように2~3cm縫いながら横方向に布地をはずします。
4. 余分なカラ縫い糸を切り落とします。

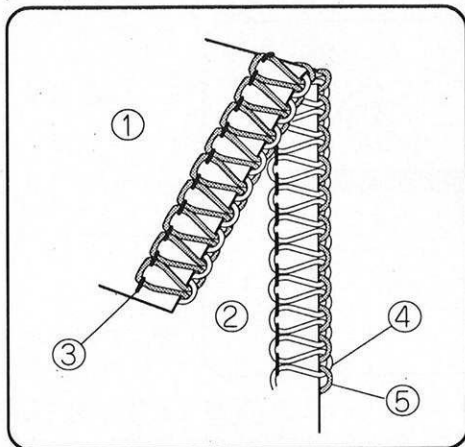
### ◆縫い目のほどき方



上ルーパー糸のすべてを市販のリッパーなどで布地を痛めないように切断しますと、簡単に縫い目がほどけます。

- ① 上ルーパー糸
- ② 表

# ●糸調子の出し方

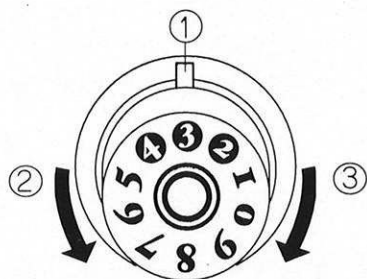


## ◆正しい糸調子

- ・針糸、上ルーパー糸、下ルーパー糸の各糸調子は、糸調子器の目盛「3」を基準にしています。
- ・糸調子は、布地の種類や糸の太さ、種類によって多少の調節を必要とすることがあります。
- ・縫い目を見ながらそれぞれの糸調子器で調節してください。

- ①裏
- ②表
- ③針糸
- ④上ルーパー糸
- ⑤下ルーパー糸

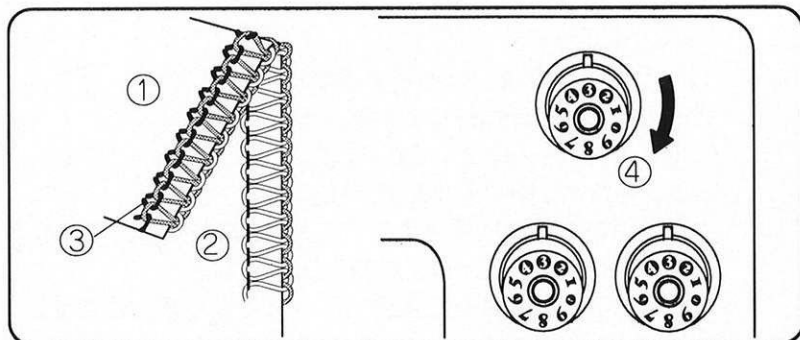
## ◆糸調子の調節の仕方



\*針糸、上ルーパー糸、下ルーパー糸の3つの糸調子器は、糸調子器の目盛「3」を基準に試し縫いをして、縫い目を見ながら正しく調節してください。

\*最初に針糸から調節してください。

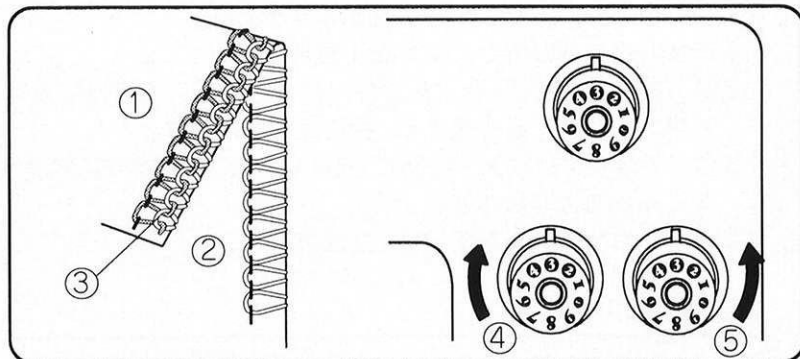
- ①指示線
- ②弱くなる
- ③強くなる



### 《針糸が弱いとき》

針糸調子を強くする

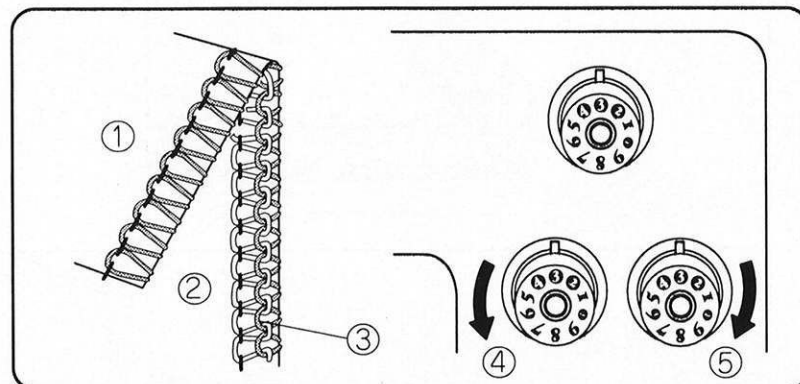
- ①裏
- ②表
- ③布裏に針糸のループが残る
- ④針糸調子器を強くする



### 《下ルーパー糸が強いが、上ルーパー糸が弱いとき》

下ルーパー糸調子を弱くする、または上ルーパー糸調子を強くする。

- ①裏
- ②表
- ③上ルーパー糸が布裏まできている
- ④上ルーパー糸調子器を強くする、または
- ⑤下ルーパー糸調子器を弱くする



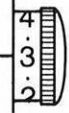
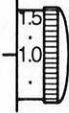
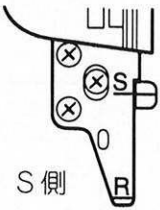


### 《下ルーパー糸が弱いが、上ルーパー糸が強いとき》

下ルーパー糸調子を強くする、または上ルーパー糸調子を弱くする。

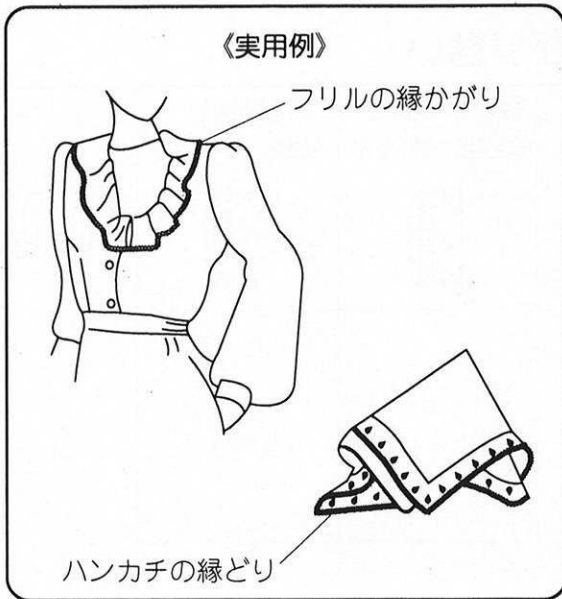
- ①裏
- ②表
- ③下ルーパー糸が布表まできている
- ④上ルーパー糸調子器を弱くする、または
- ⑤下ルーパー糸調子器を強くする

● 布に適した糸や針を選ぶ目安（縁かがり縫い）

布の種類		糸 	針 	縫い目の長さ (送り目) ダイヤル 	差動送り (伸縮) ダイヤル 	かがり爪つまみの セット位置
うすい布	裏地、 ジョーゼット、 ローン、 クレープデシン、 オーガンジー	化繊糸 # 80 ~ 100	HAX1SP # 11	2.0 ~ 3.0mm	0.5 ~ 1.0	
普通の布	木綿地、 リンネル、 サテン	化繊糸 # 60 ~ 100	HAX1SP # 11 ~ # 14	2.5 ~ 3.5mm	1.0	
厚い布	ツイード、 キルティング、 デニム、 ギャバジン	化繊糸 # 50 ~ 60	HAX1SP # 14	3.0 ~ 4.0mm	1.0	
ニット地	メリヤス、編地	化繊糸 # 60 ~ 90 ウーリーナイロン糸 (ルーパー糸用)	HAX1SP # 11 ~ # 14	2.5 ~ 3.5mm	1.0 ~ 2.2	

\*糸調子の目安は糸調子の出し方をご覧ください。

# ● 標準巻きロック、変形巻きロック、ピコ縫い

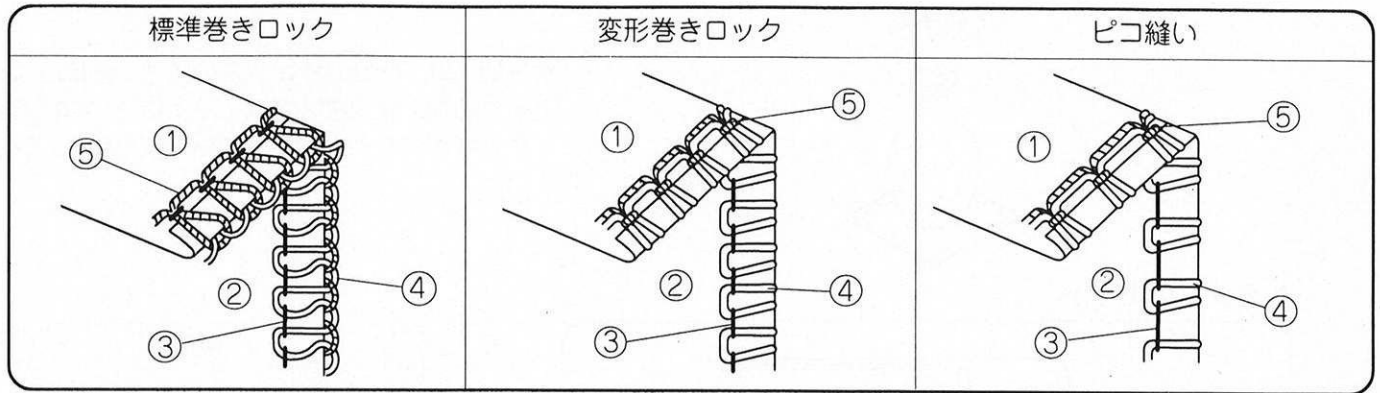


⚠ 針をはずすときは、必ず電源スイッチをきってから行ってください。

⚠ かがり爪つまみをセットするときは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

	標準巻きロック	変形巻きロック	ピコ縫い
糸調子の目安			
縫い目の長さ (送り目) ダイヤル			
差動送り (伸縮) ダイヤル			
かがり爪つまみの 位置			
針	HAX1SP #11		
針 糸	化繊糸 #80~100		
上ルーパー糸 下ルーパー糸	ウーリーナイロン糸または 化繊糸 #80~100	ウーリーナイロン糸または 化繊糸 #80~100	化繊糸 #60~100
布	うすい布 (オーガンジー、クレープデシン、ローン、ジョーゼット)		

◆正しい糸調子



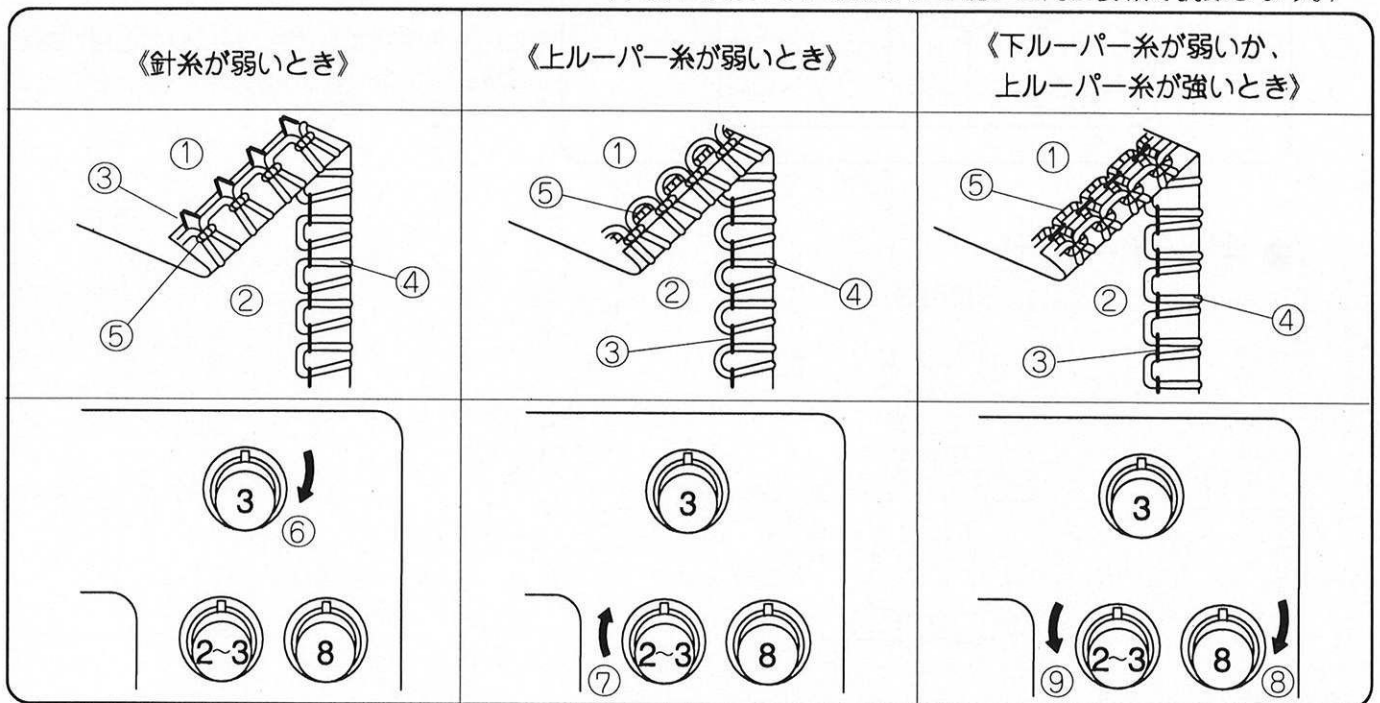
①裏 ②表 ③針糸 ④上ルーパー糸 ⑤下ルーパー糸

◆糸調子の調節の仕方

\*糸調子の目安(P26)基準に試し縫いをして、縫い目を見ながら正しく調節してください。

◆変形巻きロックとピコ縫いの糸調子の調節

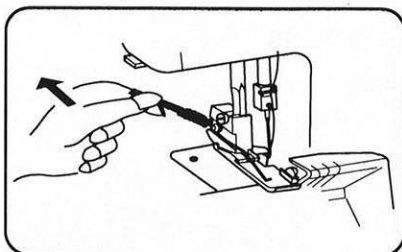
(\*標準巻きロックは縁かがり縫いと同じ要領で調節します。)



①裏 ②表 ③針糸 ④上ルーパー糸 ⑤下ルーパー糸 ⑥針糸調子器を強くする

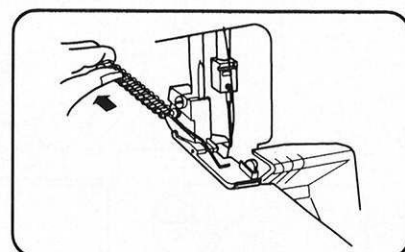
⑦上ルーパー糸調子器を強くする ⑧下ルーパー糸調子器を強くする、または ⑨上ルーパー糸調子器を弱くする

— 上手に仕上げるには —



変形巻きロック

縫い始めは、カラ縫いした糸を指で少し向こう側へ引きぎみにして縫うときれいに仕上がります

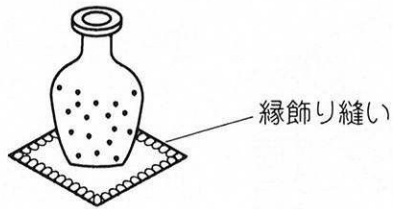


ピコ縫い

布を軽く向こう側へ引きながら縫うと、きれいに仕上がります。

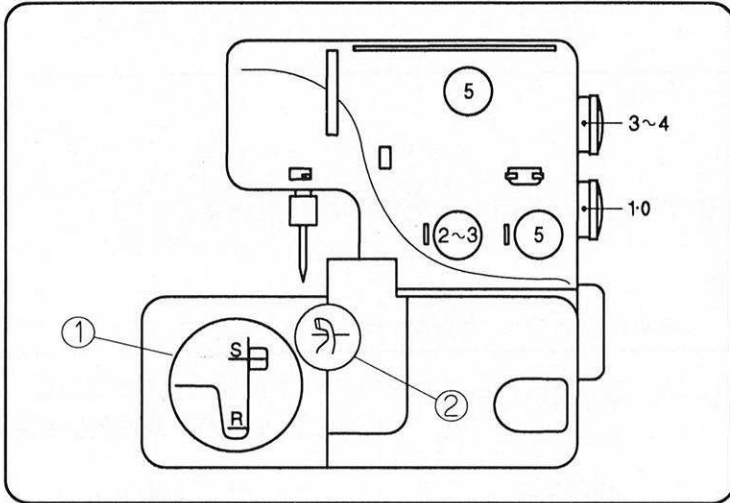
## ● 縁飾り縫い

《実用例》



\*糸調子は、布地の種類や糸の太さ、種類によって多少の調節を必要とすることがあります。縫い目を見ながらそれぞれの糸調子器で調節してください。

### ◆ ミシンのセット



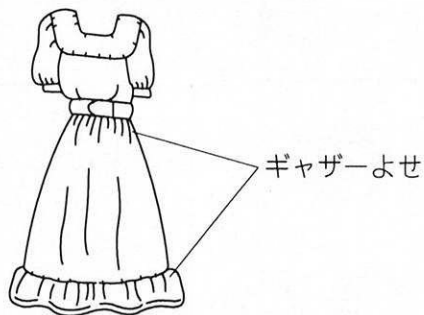
布	使用糸	
普通の布	針糸	化繊糸 # 60 ~ 80
	上ルーパー糸	飾り糸、極細毛糸
厚い布	下ルーパー糸	化繊糸 # 60 ~ 100

- ①かがり爪つまみ：S側
- ②上メス：駆動側

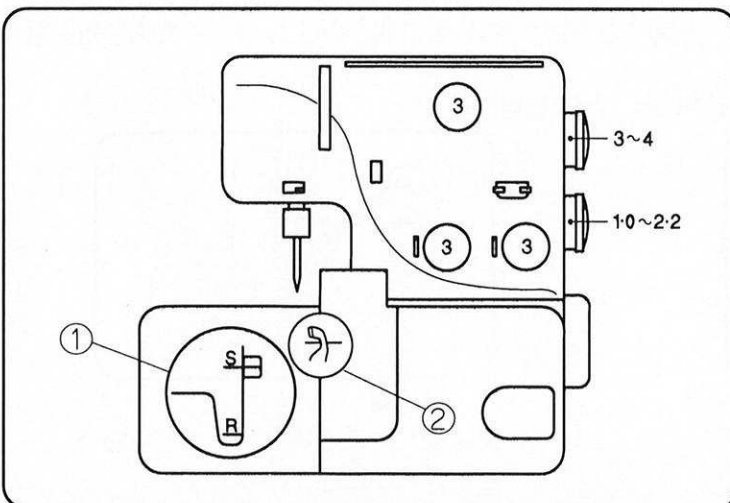
\*太い糸を使用するとき、縫い始めと縫い終わりはカラ縫いした糸を軽く向こう側へ引きながら縫うときれいに仕上がります。

## ● ギャザーよせ

《実用例》



### ◆ ミシンのセット

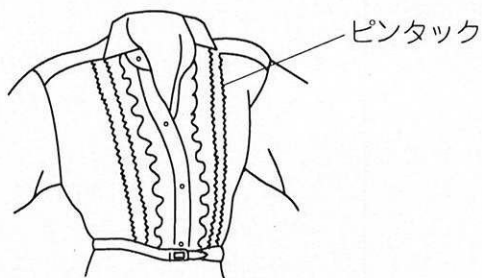


布	使用糸	
普通の布	針糸	化繊糸 # 60 ~ 80
うすい布	上ルーパー糸	化繊糸 # 60 ~ 80
	下ルーパー糸	

- ①かがり爪つまみ：S側
- ②上メス：駆動側

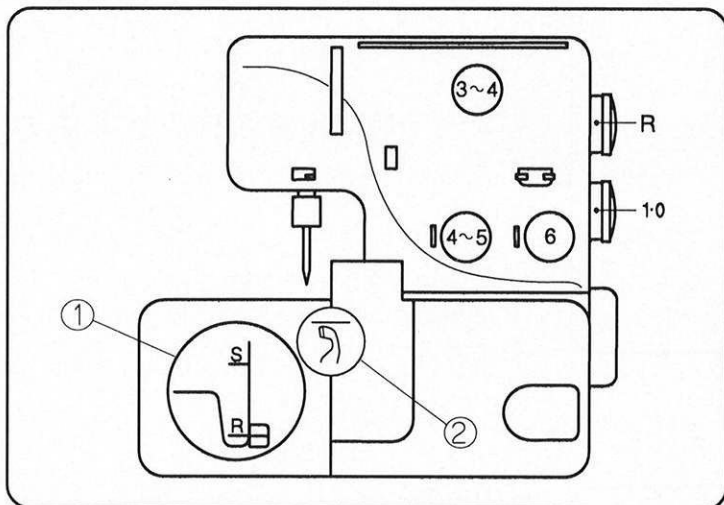
# ● ピンタック

《実用例》



\*糸調子は、布地の種類や糸の太さ、種類によって多少の調節を必要とすることがあります。縫い目を見ながらそれぞれの糸調子器で調節してください。

## ◆ ミシンのセット



布	使用糸	
	うすい布	針糸
ニット地	上ルーパー糸 下ルーパー糸	化繊糸 #60~100

- ①かがり爪つまみ：R側
- ②上メス：解除側

## 縫い方

**⚠ 電源スイッチを切ってください。**

上メスを解除します。  
電源スイッチを入れ折り山がカイドラインにそうようにして縫います。

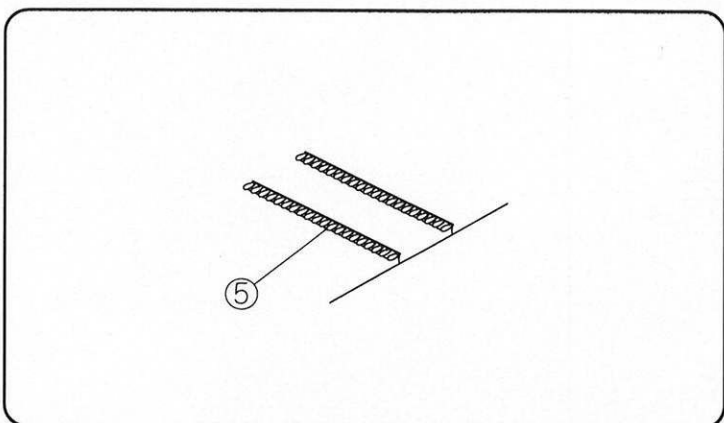
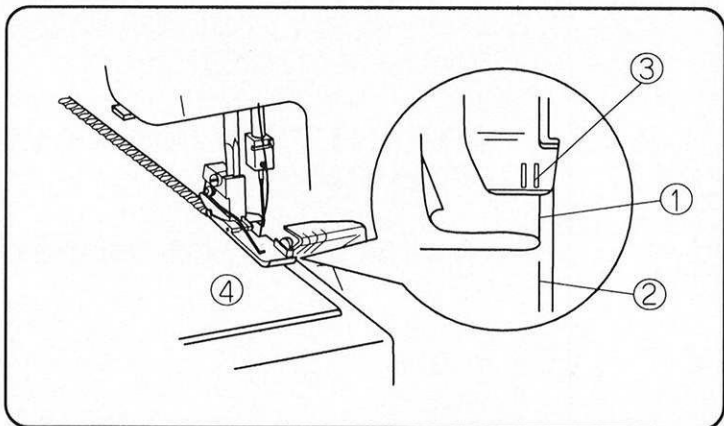
\*縫い目は押さえの右針位置ラインが目安になります。

- ①折り山
- ②針板のガイドライン
- ③押さえの右針位置ライン
- ④布表

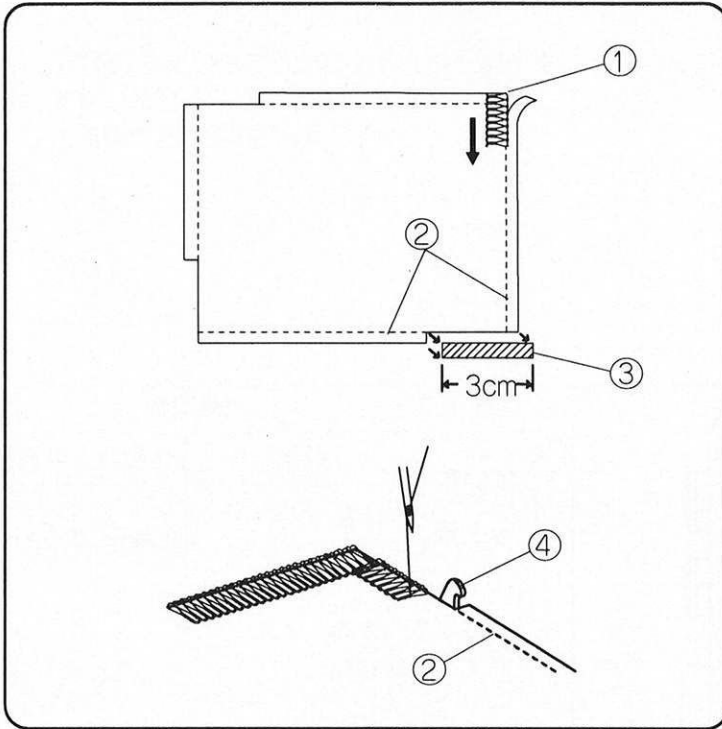
布をひらいて、アイロンで山を片側に倒します。

\*作業が終わったら、上メスをもとにもどしておいてください。

- ⑤ピンタック



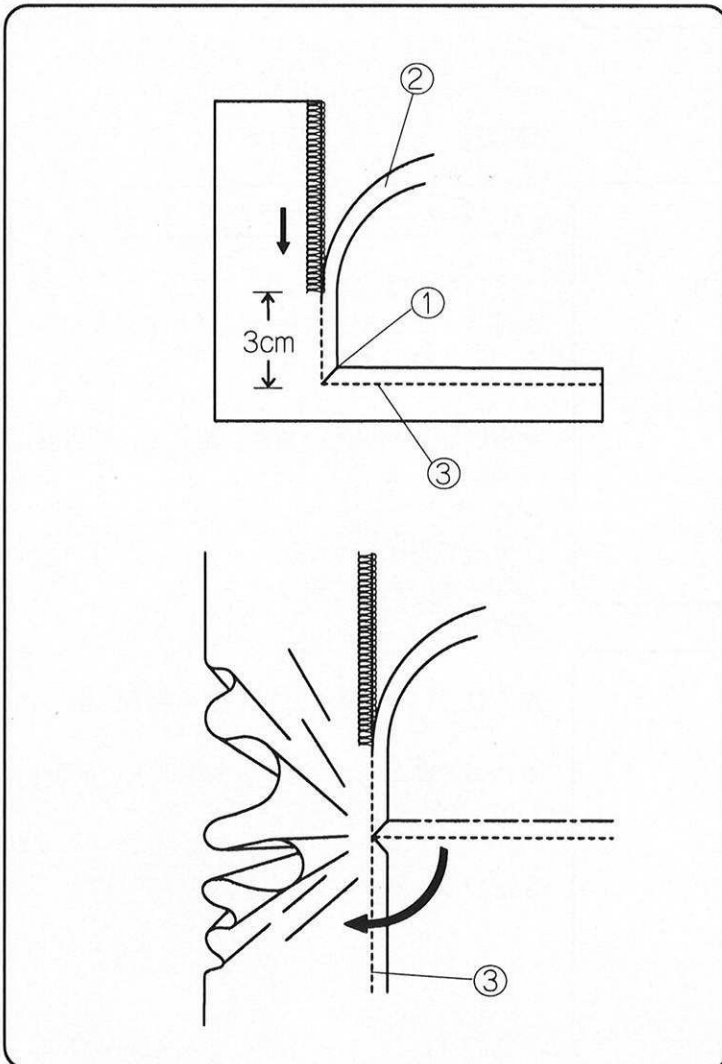
## ● コーナー部の上手な縫い方



### ◆ 外角のとき

1. 四すみのうち、縫い始め部をのぞく角を図のように切りしろ線にそって約3cm切り落とします。
2. 縫い始め部から次の角まで縫い終わったとき、ミシンを停止し、針と押さえを上げ、ゆっくりと布を回して切りしろ線に上メスを当てるようにセットします。
3. 押さえを下げます。
4. コーナー部で縫い目が重なるように縫いを続けます。

- ① 縫い始め
- ② 切りしろ線
- ③ 切り落とし部
- ④ 上メス



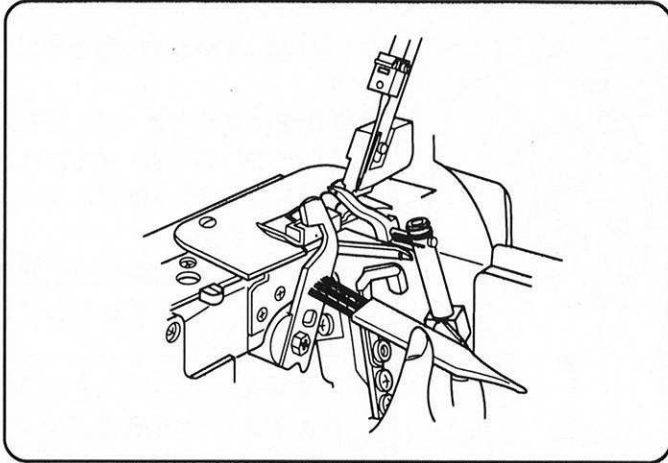
### ◆ 内角のとき


1. あらかじめコーナー部に切り込みを入れます。
2. コーナー部に向かって縫い進み、切り込みの約3cm手前でミシンを一旦とめます。
3. 次に縫われる切りしろ線を直線上にそろえ押さえの下側へ送り込みます。
4. そのまま縫い進みますと内角の縫いがきれいに仕上がります。

- ① 切り込み
- ② 切りしろ
- ③ 切りしろ線



## ● 切りくずの清掃

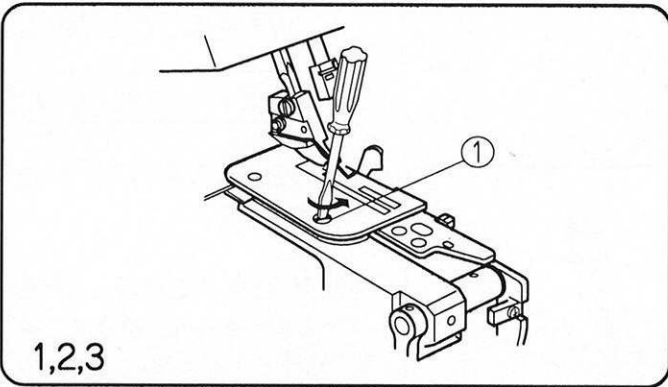



 電源スイッチを切ってください。

ルーパーカバーをひらき、切りくずをお手持ちのブラシで取り除きます。

\* ブラシで清掃しにくい切りくずや、ほこりは電気掃除機で吸い取ってください。

## ● 送り歯の清掃



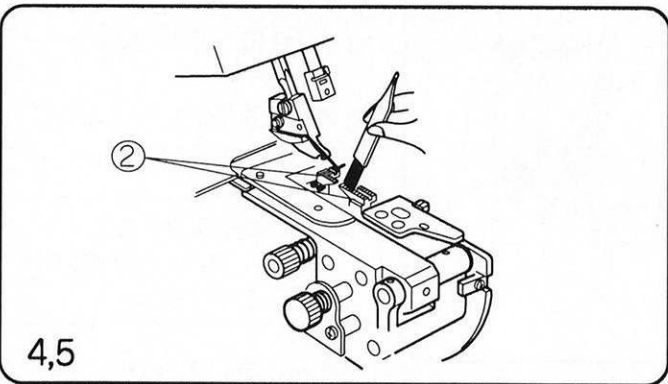
 電源スイッチを切ってください。

1. ルーパーカバーと布板をひらきます。

2. 針と押さえをはずします。

3. 針板しめねじをはずし、針板をはずします。

① 針板しめねじ

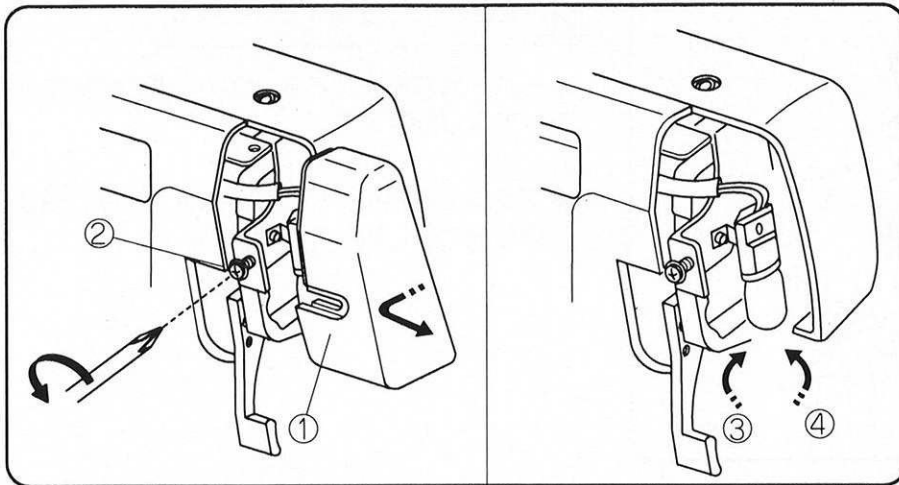


4. 送り歯のごみを、お手持ちのブラシで落とします。

5. 針板、押さえ、針をとりつけ、ルーパーカバーと布板をしめます。

② 送り歯

## ●電球のとりかえ方



⚠ 電源スイッチを切ってください。

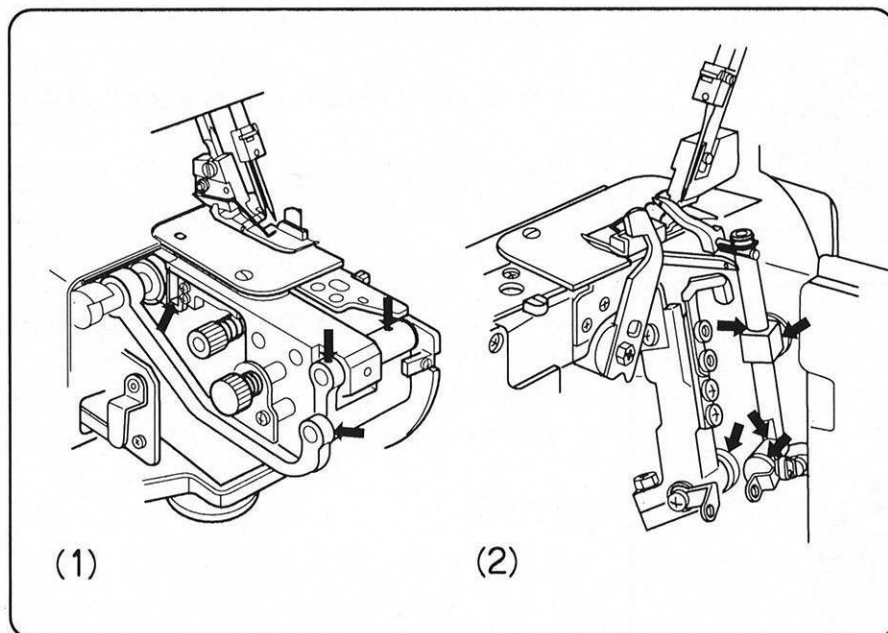
1. しめねじをゆるめ、面板をはずします。
2. 電球をはずすとき…左に回します。  
電球をつけるとき…右に回します。
3. 電球をとりかえ終わったら、面板をとりつけます。

- |        |          |
|--------|----------|
| ① 面板   | ③ 電球をはずす |
| ② しめねじ | ④ 電球をつける |

⚠ 電球をとりかえるときは、電球が冷えていることを確認してください。  
⚠ 電球を外した状態でミシンを使用しないでください。

\*このミシンの電球は照明用100V-12Wを使用してください。

## ●注油のし方



⚠ 電源スイッチを切ってください。

矢印の箇所に良質のミシン油を1~2滴注油します。

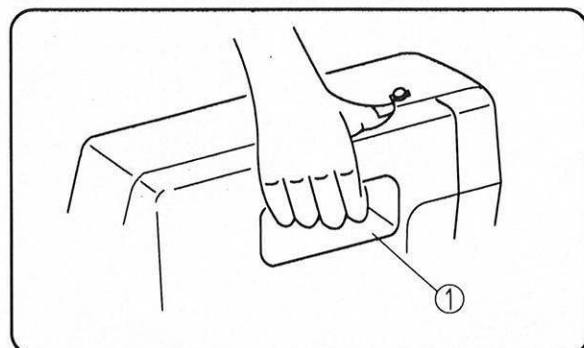
注油後、上メスを解除し、布板とルーパーカバーをしめ、押さえをあげます。電源スイッチを入れ、1~2分ほどミシンを回転させてよく油をしみこませます。手や布がふれる所についた油はふき取ってください。

\*快適にご使用いただくために、定期的な注油をしてください。

⚠ ミシンを回転させるときは、必ずルーパーカバーと布板を開けてから行ってください。

- (1) 布板を開いて注油します。
- (2) ルーパーカバーを開いて注油します。

## ●ミシンの持ち運び方



ミシン本体裏側の上部にくぼみがありますので、図のように指をかけますと、持ち運びができます。

- ① 指かけ用くぼみ

## ● 調子がよくないときの直し方

調子がよくない状態	原因	直し方
布地を送らない。	①押さえがあがっている。 ②送り歯が糸くずでつまっている。	押さえをおろす。 31 ページ参照
針が折れる。	①針のつけ方がまちがっている。 ②針がまがっていたり、針先がつぶれている。 ③布地を無理に引っばった。	7 ページ参照 7 ページ参照 縫う時は軽く引く程度にする。
糸が切れる。	①糸の掛け方がまちがっていたり、糸が必要以外のところからみついている。 ②糸調子が強すぎる。 ③針のつけ方がまちがっている。 ④針がまがっていたり、針先がつぶれている。	13～21 ページ参照 24,26～29 ページ参照 7 ページ参照 7 ページ参照
縫い目かとぶ。	①針のつけ方がまちがっている。 ②針がまがっていたり、針先がつぶれている。 ③糸の掛け方がまちがっていたり、糸が必要以外のところからみついている。	7 ページ参照 7 ページ参照 13～21 ページ参照
縫い目の調子が悪い。	①糸調子が強すぎるか、弱すぎる。 ②糸の掛け方がまちがっていたり、糸が必要以外のところからみついている。 ③針と糸が布に対して合っていない。 ④糸調子皿に、糸がきちんと入っていない。	24,26～29 ページ参照 13～21 ページ参照 25,26,28,29 ページ参照 16,19,20 ページ参照
縫い目がしわになる。	①糸調子が強すぎる。 ②糸の掛け方がまちがっていたり、糸が必要以外のところからみついている。 ③縫い目の長さ（送り目）、または差動送り（伸縮）ダイヤルの設定がまちがっている。 ④かがり爪位置がまちがっている。	24,26～29 ページ参照 13～21 ページ参照 9,25,26,28,29 ページ参照 12,25,26,28,29 ページ参照
ミシンがまわらない。	①コンセントにプラグがきちんとさしこまれていない。 ②電源スイッチがOFFになっている。	4 ページ参照 ONにする。
縫い目と布のバランスが悪い。	①切り幅の調節が合っていない。	11 ページ参照

## 修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店で渡す保証書は内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 無料修理保証期間内（お買い上げ日より1年間です）およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申しつけください。

## 修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後8年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

## 無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 使用説明書に従って、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。  
ただし、次のような場合は修理できないことがあります。
  - 1) 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
  - 2) 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
  - 3) お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
  - 4) お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障または損傷したとき。
  - 5) 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

## ■仕様

- 縫い型式 : 1本針3本糸オーバーロック
- 使用糸本数 : 3本
- かがり幅 : 標準/3.5mm  
最大/5.3mm
- 縫い目（送り目） : 1~4mm
- 差動送り比率 : 0.5~2.2  
(差動比=伸びし・縮みの比率)
- 縫い速度 : 毎分1,300回転
- 使用針 : オルガンHAX1SP (#11, #14)
  
- 使用電圧 : 100V 50/60Hz
- 消費電力 : 100W/ランプ12W
- ミシンの大きさ : 幅310mm × 奥行270mm × 高さ280mm
- ミシンの重さ : 6.2kg (本体)

仕様および外観は改良のための予告なく変更することがありますので、ご了承ください。



# Artisan

株式会社 **ジューキ**

本社 / 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL 03(3265)2851(代表)

札幌 011 (737) 6821    仙台 022 (239) 3705    新潟 0250 (43) 4451  
 東京 03 (3265) 8741    名古屋 052 (917) 3671    大阪 06 (6768) 3651  
 倉敷 086 (473) 0355    広島 082 (227) 5781    福岡 0942 (44) 7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ \_\_\_\_\_  
 お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年      月      日
販売店名	
	TEL